

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	I	1	(1)									
1	I	1	(1)	男女共同参画センター学習	NPO法人たかまつ男女共同参画ネット(委託)	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催する。	男女共同参画に対する理解を深めるため、男女共同参画センターにおいて、各種セミナー・講座を実施する。 学習研修事業(全45回) ・男女が共に活躍するまちづくり講座5回 ・参画センター出前セミナー 7回 など	高松市男女共同参画センターにおいて、男女共同参画に関する各種セミナー・講座を開催した。 学習研修事業(全64回) ・男女が共に活躍するまちづくり講座5回 ・参画出前セミナー 9回 など	4	予定通り事業が実施され、多彩な内容のセミナー・講座を開催することができ、目標も達成できた。今後、セミナー・講座の受講者の増加を図るための取組みを行い、更なる成果の向上につなげていきたい。		男女共同参画・協働推進課
2	I	1	(1)	男女共同参画週間事業	市	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の啓発のための講演会・パネル展、弁護士による法律講座・相談等を実施する。	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行う。 男女共同参画啓発事業(6/23～29) ・街頭キャンペーン ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	男女共同参画週間に合わせ、男女共同参画の推進にかかる講座や研修を行った。 男女共同参画啓発事業(6/23～29) ・街頭キャンペーン ・講演会 ・弁護士相談 ・パネル展	3	予定通り事業が実施されたが、参加者数等の目標が達成できなかった。講演会等、内容については、参加者には好評であり、今後周知等の取組みを強化することで成果の向上を図る。		男女共同参画・協働推進課
3	I	1	(1)	消費者教室	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育をテーマにした小学生対象の親子教室を開催する。	夏休み親子消費者教室の実施 8月に1回開催 参加者は市内の小学生の親子40組	夏休み親子消費者教室を8月7日に開催する予定だったが台風の為、中止となった。	(評価不可)	台風の為、中止。		くらし安全安心課
4	I	1	(1)	多重債務問題研修会	市、高松市消費者団体連絡協議会(共催)	多重債務問題の根本的な解決を目指し、多重債務の現状や解決方法についての研修会を開催する。	市民と市職員を対象にした「多重債務問題研修会」を1回開催	市民と市職員を対象に「多重債務問題研修会」を開催(9月27日)参加者104人	4	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかった」「まあまあよかった」の合計が約78.9%と高かった。市民の一般参加は8人にとどまった。		くらし安全安心課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
5	I	1	(1)	消費者ウイーク	市(消費生活パネル展は県との共催)	消費者の日(5月30日)を含む消費者ウイークに、各種啓発事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成29年5月27日・28日 瓦町FLAG 市民交流プラザIKODE瓦町</li> <li>消団連結成40周年記念&amp;消費者月間事業記念講演会 平成29年5月30日 サンポートホール高松 第2小ホール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしをみなおす市民のつどいと同時開催 平成29年5月27日・28日 瓦町FLAG 市民交流プラザIKODE瓦町</li> <li>入場者 約1,060人</li> <li>消団連結成40周年記念&amp;消費者月間事業記念講演会 テーマ「大切なもの 命・平和・教育～子どもたちの未来のために～」 平成29年5月30日 サンポートホール高松 第2小ホール 121人受講</li> </ul>	5	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかった」「まあまあよかった」の合計が約88.5%と、28年度より満足度が2.9%増加した。		くらし安全安心課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
6	I	1	(1)	暮らしをみなおす市民のつどい	高松市暮らしをみなおす市民のつどい運営委員会(共催)	高松市消費者団体連絡協議会との共催により、市民参加型の消費者の祭典として実施し、パネル展・活動発表・講座等を開催する。	「消費者ウイーク事業」と同時開催 平成29年5月27日・28日 瓦町FLAG 市民交流プラザIKODE瓦町 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)	「消費者ウイーク事業」と同時開催 平成29年5月27日・28日 瓦町FLAG 市民交流プラザIKODE瓦町 入場者 約1,060人 消費者問題に関する啓発等を目的とした各種事業(パネル展・エコ工作・啓発ミニ講座ほか)	5	事業実施時に行ったアンケート結果から、「大変よかった」「まあまあよかった」の合計が約88.5%と、28年度より満足度が2.9%増加した。		くらし安全安心課
7	I	1	(1)	消費生活出前講座	市	消費生活を取り巻く社会経済情勢に対応し、消費者意識の高揚・消費生活に関する知識の普及のため、消費生活出前講座を実施する。	消費生活相談員を講師に、消費者被害未然防止・拡大防止を目的とした講座を、市内のコミュニティセンターなどで実施する。また、消費者団体連絡協議会にも「寸劇」コーナーを一緒に行う等により講座に参加してもらい、出前講座が各地域に広がるよう努める。	実施回数:4回(高齢福祉関係事業者・老人会等)	4	昨年度より実施数が減少したが、高齢福祉関係事業者等を中心に申し込みがあり、消費者トラブルに遭いやすい高齢者に向けた啓発を行うことが出来た。		くらし安全安心課
8	I	1	(1)	犬猫の飼う前教室	市	動物愛護意識を高め、動物の適正な飼養について理解を深めるため、講習会を開催する。	引き続き、個別開催を実施し、受講しやすい環境を設定する。	安易な飼養の抑制、終生飼養の徹底等を中心に、講習会を保健所において実施した。 実施回数:90回 受講人数:171人	5	前年度と同等の実施回数であり、譲渡及び動物愛護や適正飼養の普及啓発を推進できた。		生活衛生課
9	I	1	(1)	犬猫の飼い方教室	市	市民を対象に、犬や猫の基本的な飼い方・しつけ方、健康管理や飼養に関するルール・マナー、適正飼養管理と動物愛護等について講習会を開催する。	内容を細分化し、飼い主にとって必要な情報を提供できるよう、検討する。	ボランティア団体の協力を得て、動物取扱業者を講師に迎え、専門的な講習を行った。また、保健所にて相談会を実施、飼い方について普段不安に思っていること等に対して推進員や動物病院の獣医師が対応した。 実施回数:6回 受講人数:86人	5	犬の専門家を講師に迎え、より専門的な内容を発信することができた。また、出前講座等も実施、動物愛護管理について、広く普及啓発することができた。		生活衛生課
10	I	1	(1)	ひきこもり等の支援事業	市	ひきこもり等の家族や当事者からの相談に対応し、県ひきこもり支援センターや関係機関と連携しながら支援を行う。	29年度からはひきこもり相談窓口の年齢制限を緩和し、幅広く受け付けていく。また、通常の相談業務や県ひきこもり支援センターからの相談に対し、サポーター派遣の可能なケースに対し引き続き支援していく。	ひきこもり相談窓口(相談件数)150件 サポーター派遣案件 6件 派遣回数 30回	5	ひきこもり相談窓口(委託)や保健センターでの相談の中から、必要と思われる案件について適切にサポーター派遣につながることができた。ひきこもりサポーターとも連携しながら、必要な家庭に対し対応できていた。		保健センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	I	II	III									
11	I	1	(1)	NPO等の活用による環境学習活動	市	多様な環境活動を行うNPO等の活用により、専門的で効果的な環境学習の機会を提供する。	28年度に引き続き、環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、より専門的で効果的な環境学習活動を実施し、参加者の環境意識の向上に努める。また、新たな団体等に呼びかけを行ったりNPO等の活動状況を発表する場を提供するなど、協力NPO等の増加を図る。	環境に関する活動を行っているNPO等の自主性を促進しながら活動をより活性化させるとともに、専門的なプログラムの提供により、市民の環境問題に対する効果的な意識啓発を図った。	4	目標団体数は達成できなかったが、新たな団体の協力による講座を実施するなど、より専門的で効果的な環境学習の機会を提供することができた。		環境保全推進課
12	I	1	(1)	高松テルサ文化教養・研修事業	市	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサで、各種文化教養・スポーツ講座等を開催する。	勤労者の福祉の充実、勤労意欲の向上のため、高松テルサにおいて、パソコン講座、音楽教室、英会話教室などの各種文化教養講座を開催する。	・パソコン講座、うたごえコーラス等音楽コース、英会話教室など、多種多様な講座を開設した。 パソコン講座受講者数:530人 音楽コース受講者数:717人 その他講座・教室受講者数:1080人	4	パソコン講座受講者数は減少したが、音楽コースとその他講座受講者数は増加している。特にその他講座については、利用者ニーズも反映し、昨年度より実施メニューを増やしたことにより、大幅に伸びているため。		産業振興課
13	I	1	(1)	就活応援・適職相談事業	市	就職活動や仕事探しの一助とするため、関係機関の協力を得て、就職に関する悩みや課題解決の支援を行う。	雇用情勢の買い手市場から売り手市場への変化により、市の支援も求職者支援から企業の人材確保支援に転換する必要があることなどから、本事業については、当面開催を見合わせる予定。	雇用情勢の買い手市場から売り手市場への変化により、市の支援も求職者支援から企業の人材確保支援に転換する必要があることなどから、本事業については、開催を見合わせた。	(評価不可)	開催を見合わせたため。		産業振興課
14	I	1	(1)	成人式式典事業	市	新成人を対象に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ますための式典を開催する。	開催日:平成30年1月7日(日) 開催場所:サンポートホール高松 該当者数:3,979人(4月20日現在の市内住民登録者)	挙行日:平成30年1月7日(日) 挙行場所:サンポート高松 該当者数:4,345人(うち市外申込者数:327人) 出席者数:2,733人	5	2007年～2018年高松市成人式のうち、出席者数が最も多かったため。		生涯学習課
15	I	1	(1)	知的障がい者青年教室	市	知的障がいのある青年が、集団活動を通して、人とふれあい社会人としての知識・技能を修得するとともに、市民ボランティアが知的障がい者への理解を深める機会として教室を開設する。	年間8回(5、6、7、9、10、11、1、2月)実施 受講生登録予定者数 45人 ボランティア登録予定者数 50人	年間8回(5、6、7、9、10、11、1、2月)実施 受講生登録者数:42人 ボランティア登録者数:62人	4	受講生登録者数については、予定者数を下回ったが、ボランティア登録者数については、予定者数を大幅に上回ったため。		生涯学習課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
16	I	1	(1)	生涯学習カレッジ 事業	市	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供する。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数11,000人を目指す。	社会変化に対応した生活課題や環境問題など現代的課題をテーマにした講座や、高度で専門的な学習機会を提供し、講座参加人数9,630人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
17	I I	1 5	(1) (2)	コミュニティセンター講座	市、コミュニティセンター	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供する。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数107,100人を目指す。	コミュニティセンター等で、現代的課題をテーマとする講座や、親子ふれあい学習、趣味・実技講座等を開催し、地域住民に学習機会を提供し、講座参加人数97,812人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
18	I I	1 5	(1) (2)	高齢者教室	市、コミュニティセンター	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数25,200人を目指す。	コミュニティセンターで、高齢者が社会変化に対応する知識・能力を高め生活するために必要な学習機会を提供し、講座参加人数18,735人だった。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
19	I I	1 5	(1) (2)	女性教室	市、コミュニティセンター	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供する。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数12,900人を目指す。	コミュニティセンターで、男女共同参画社会を目指し、女性としての資質・能力の向上を図るための学習機会を提供し、講座参加人数10,904人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
20	I I	1 5	(1) (3)	本のソムリエ派遣 事業	市	図書館司書(本のソムリエ)を派遣し、図書館の仕組みや便利な使い方、本の上手な探し方などを周知する。	図書館を知り、本に親しんでもらう企画として、本の専門知識を有する図書館司書(本のソムリエ)を10名以上の出席が可能な団体へ派遣し、市民の読書活動の推進を図る。また、チラシの配布、ホームページによる広報活動を行い、事業の周知を図る。	団体等からの要請に応じ、図書館司書(本のソムリエ)の派遣を9回実施した。	5	団体等からの要請に応じて、要請のあった団体へ図書館司書(本のソムリエ)を派遣した。		中央図書館

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
21	I	1	(2)	人権・同和問題啓 発活動事業	市、コミュニ ティセン ター、高松 市人権啓発 推進協議会 (26年度以 降、人権尊 重都市たか まつ市民会 議)	市民の人権意識の普及・高揚を 図るため、啓発物品等の作成・配 布及び人権フェスティバル、市民 のつどい、ハンセン病を正しく理 解する講演会等を開催する。	○人権啓発用パンフレット、啓発物品 等の作成・配布 ○人権フェスティバルの開催 年1回 ○人権を守る市民のつどいの開催 年 1回 ○ハンセン病を正しく理解するパネル・ 作品展 ○ハンセン病を正しく理解する講演会 の開催 年1回 ○人権の花運動	○人権啓発用パンフレット、啓発物 品等の作成・配布 ポスター720枚、ポケットティッシュ 8500袋、リーフレット9800枚、ポケッ トティッシュ(身元調査お断り運動) 1100袋 ○人権フェスティバルの開催 6月 4日 ○人権を守る市民のつどいの開催 1月28日 ○ハンセン病を正しく理解するパネ ル・作品展 7月6日～12日 ○ハンセン病を正しく理解する講演 会の開催 1月22日 ○人権の花運動 小学校5校配置	5	計画どおり事業を実施でき人 権意識の普及・啓発に活かす ことができた。		人権啓発課
22	I III	1 2	(2) (1)	地域における人権 啓発推進事業	市、地域コ ミュニティ協 議会	各地域コミュニティ協議会で選任 された人権啓発推進員が、生涯 学習推進員と協力して、地域の 生涯学習における人権に関する 講座の企画・運営及び広報活動 を実施する。	○人権啓発推進員研修会の開催 年2 回 ○地域の「生涯学習事業」の中で実施 されている人権に関する講座の企画・ 運営及び広報活動	○人権啓発推進員研修会の開催 10月25日 ○地域の「生涯学習事業」の中で 実施されている人権に関する講座 の企画・運営及び広報活動	5	ほぼ計画どおり事業を実施 し、人権意識の普及・啓発に 活かすことができた。		人権啓発課
23	I	1	(2)	人権・同和問題指 導者養成事業	市	人権を尊重する明るい職場づくり や人権に配慮したやさしい企業 づくりを推進するため、市内の事 業所の代表者や人権啓発等を担 当する職員を対象に、指導者研 修講座を開催する。	○人権・同和問題講座の開催 年3回 * 人権・同和問題指導者研修講座 (人権啓発課:2日)及び高松市許可・ 登録業者人権研修講座(産業振興課: 1日)事業を一本化し企業の利便性図 る。	○人権・同和問題指導者研修講座 の開催 10月30日、11月13、21 日	5	計画どおり事業を実施でき人 権意識の普及・啓発に活かす ことができた。		人権啓発課
24	I	1	(2)	平和啓発推進事業	市	平和意識の啓発・普及のため、平 和を語るつどい・映画祭、空襲写 真展、戦争遺品展、講演会等を 開催する。	○平和を語るつどい・憲法記念平和映 画祭、高松空襲写真展、高松市戦争遺 品展、教職員のための平和教育講演 会、収蔵品巡回展、非核宣言自治体協 議会研修会の開催 ○平和記念だよりの発行	○平和を語るつどい・憲法記念平 和映画祭(5月27日)高松空襲写真 展(7月1日～10日)、高松市戦争 遺品展(7月20日～26日)、高松 戦災・原爆写真展(7月27日～8月 2日)、収蔵品巡回展、教職員のた めの平和教育講演会、非核宣言自 治体協議会研修会(7月2日)の開 催 ○平和記念だよりの発行	5	計画どおり事業を実施し、平 和意識の普及・啓発に活かす ことができた。		人権啓発課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	I	1	(2)									
25	I	1	(2)	許可・登録業者人権研修講座	市	企業等の社会的責任として、人権・同和問題について正しい理解と認識を深めるため、研修講座を開催する。	市民政策局(人権啓発課)に移管。	市民政策局(人権啓発課)に移管。	(評価不可)	市民政策局(人権啓発課)に移管したため。		産業振興課
26	I IV	1 1	(2) (1)	多文化共生事業	市	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、「多言語メルマガ もっと高松」を配信する。	母国語で情報入手が困難な外国人住民を支援するため、高松市や(公財)高松市国際交流協会等が実施するイベントや地域に関する情報等を、毎月第2金曜日に、英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」で配信する。	毎月第2金曜日に英語・中国語によるメルマガジン「多言語メルマガ もっと高松」を配信し、外国人住民への情報提供を行うことができた。	3	多言語メルマガ登録者数は、わずかに減少したが、毎月第2金曜日に「多言語メルマガ もっと高松」を予定どおり配信したため。		都市交流室
27	I	1	(2)	かがわ国際フェスタ	市	国際交流・協力活動への参加・理解の促進、市民と在住外国人の相互理解・交流を深めるため、「かがわ国際フェスタ」を開催する。	(公財)香川国際交流協会等と共催で、国際交流・国際協力に携わる県内の団体相互の連携強化や、市民の国際交流・協力活動への参加・理解の促進とともに、市民と在住外国人との相互の理解・交流を深めるために実施する。	(公財)香川県国際交流協会等との共催で、平成29年10月9日(月・祝)に香川国際交流会館(アイバル香川)を会場として「かがわ国際フェスタ2017」を開催した。約4,500人が様々なイベントに参加し、国際交流への理解を深めることができた。	4	目標を上回る参加者数で多くの市民が在住外国人などと触れ合い交流を深めることができた。		都市交流室
28	I	1	(2)	人権教育市民講座	市	コミュニティセンターで、地域住民を対象に、啓発資料や視聴覚教材を活用した人権教育市民講座を開催する。	52コミュニティセンターで開催する。	延べ37コミュニティセンターで開催 延べ1,785名参加	4	地域住民への人権教育推進が図られたが、講座未開催のコミュニティセンターがある。		人権教育課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
29	I	1	(3)	瀬戸内国際芸術祭 推進事業	瀬戸内国際 芸術祭実行 委員会(補 助)	文化芸術の振興と瀬戸内の活性 化・地域振興、世界への情報発 信のため、3年毎に国際的な芸術 祭として「瀬戸内国際芸術祭」を 開催する。	ART SETOUCHI 2017の開催と、 瀬戸内国際芸術祭2019開催に向けた 準備を行う。	瀬戸内国際芸術祭2019開催に向 け、県や関係市町と連携して準備 を進めるとともに、ART SETOUCHI 2017として、女木島、男木島、大 島、高松港周辺に設置する継続作 品の公開や、イベントを開催した。  ・島間交流事業3回(参加者計78 名) ・2019応募作品数 756点(619組) ・主なイベント 「女木島名画座上映会」3回(来場 者計72名) 「演奏会MEGI HOUSE CONCERT『アンサンブル瀬戸内』 ファーストインプレッション」2回(来 場者計68名) ・「劇団桃歌309『風が吹いた、帰ろ う』」2回(来場者計294名) ・「大島あおぞら市」1回来場者計58 名) ・「切腹ピストルス『縦横無尽』」3回 (来場者計900名)※市外含む	4	県や関係市町と連携して芸術 祭2016の継続作品を有効活 用し、公開するとともに、各種 イベントやアーティストによる ワークショップを開催し、年間 を通じた地域の活性化に努め た。		文化芸術振興課
30	I	1	(3)	市民文化祭	高松市市民 文化祭ア ーツフェスタ かまつ事業 運営委員会 (補助)	市民企画提案型事業「アーツフェ スタかまつ」と、各地区の特性 を生かした地区文化祭の開催を 支援する。	平成29年5月27日(土)から7月2日(日) の期間でアーツフェスタ2017を開催。 企画は、オープニングセレモニー、オー プニング事業(書道パフォーマンス・い けばな展等のオープニングパフォー マンス、オープニング公演)、主催事業15 事業、後援事業3事業を予定している。	開催団体: オープニング事業1団 体、主催事業15団体、後援事業3 団体 観賞者数: 9,012人	4	参加団体については、前年度 と同数の19団体、演者の数は 1,605名と前年度よりも増加 し、講演内容を充実させるこ とができているため。今後も引き 続き広報活動を積極的に行 い、観賞者数の増加に繋がる ように努める。		文化芸術振興課



取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
31	I	1	(3)	デリバリーアーツ 事業	市	普段の生活の中で身近で気軽に文化芸術に親しむ機会づくりとして、市民の希望により出前公演を実施する。	平成29年8月から平成29年12月までの開催期間で募集を行う。 公演は、落語、アンサンブル演奏、和太鼓、金管五重奏と初めての開催となる、あやつり人形劇、尺八コンサート、サーカスキャラバンの7メニュー、15公演を予定している。瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業として、圏域内のさぬき市、東かがわ市でも開催する。	開催回数: 全16回(内さぬき市1回) 観覧者数: 2,050人(内さぬき市80名) 瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の取組事業として、圏域市町に呼びかけ、さぬき市でも実施した。	5	前年度よりも鑑賞者が393名増えたとともに、開催した団体から好評であり、再度実施したいという要望が多く満足度が高いといえるため。		文化芸術振興課
32	I	1	(3)	文化芸術ホール自主事業	公益財団法人高松市文化芸術財団(補助)	文化芸術ホールにおいて、文化芸術の振興・普及のため、コンサート等各種事業を開催する。	主催(補助)事業10事業、主催(独自)事業2事業、共催(補助)事業3事業を計画。	主催(補助)事業10事業、主催(独自)事業2事業、共催(補助)事業3事業を計画。	5	計画通りに実施しており、第4回高松国際ピアノコンクールの開催等により、鑑賞者数も増加したため。		文化芸術振興課
33	I	1	(3)	まちなかパフォーマンス事業	MUSIC BLUE TAKAMATSU実行委員会(委託)	芸術文化への関心を高め、中心市街地のにぎわいを創出するため、サンポート高松・丸亀町商店街などで、アートに関連した各種イベント等を実施する。	・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 2017 ・街クラシックin高松 ・高松フラストリート ・サンポートオータムジャム ・大道芸フェスタ 上記5事業を開催する。	・TAKAMATSU MUSIC BLUE FES 2017 ・街クラシックin高松 ・高松フラストリート ・サンポートオータムジャム ・大道芸フェスタ 上記5事業を実施した。	5	前年度と変わらず5事業実施し、また観覧者数も増加したため。		文化芸術振興課
34	I	1	(3)	美術館催し物事業	市	特別展会期中に館内エントランスホール等で県内若手演奏家によるミニコンサート等を開催する。	特別展に併せた従来のミニコンサートをエントランスホールで開催予定。	ミニコンサート6回	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。		美術館美術課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	I	1	(3)									
35	I	1	(3)	ふるさと探訪事業	市(高松市歴史民俗協会、(H26~)高松市文化財保護協会と共催)	市内・近郊各所の文化財に触れ、郷土の歴史・文化の学習ができるよう、年間10回「ふるさと探訪」を開催する。	ふるさと探訪を年間10回開催する 市内・・・浜ノ町(水任流泳法見学ほか)、塩江町(最明寺ほか)など7箇所 市外・・・綾歌町(快天山古墳ほか)、三木町(西徳寺ほか)など3箇所	ふるさと探訪を年間10回開催した。 市内・・・浜ノ町(水任流泳法見学ほか)、塩江町(最明寺ほか)など7箇所 市外・・・綾歌町(快天山古墳ほか)、三木町(西徳寺ほか)など3箇所	4	台風の影響で参加者が少なくなった回もあったが、平均して100名を超える参加があり、また、大学生などの若い世代にも少しずつ参加いただけるようになった。		文化財課
36	I	1	(3)	親子文化財教室	市(高松市文化財保護協会共催)	市内の小学生と保護者を対象に、年2回、郷土の歴史・文化財を学習し、文化財を身近に学ぶ機会を提供する。	①高松張子人形をつくろう！ ②発掘調査にチャレンジ(六条町)	①高松張子人形をつくろう！ ②発掘調査にチャレンジ(六条町) 参加者80名	4	各回ともキャンセル待ちが発生するほどのお申し込みがあり、参加者も昨年より増加した。反面、会場の設定や開催を2回に分ける等の工夫をし、より多くの人に文化財に親しんでいただく機会を作れるようにしたい。		文化財課
37	I	1	(3)	石の民俗資料館友の会コンサート	市、石の民俗資料館友の会	地域文化の向上を目指し、石の民俗資料館友の会が、年5回程度、クラシック音楽等コンサートを開催する。	(H29年度中5回開催予定) 「フランス歌曲ソプラノ(仮)」5/20 「ソプラノリサイタル(仮)」7/15 「ピアノとフルートDuo(仮)」10/21 「トロンボーン(仮)」12/16 「ピアノとヴァイオリンDuo(仮)」3/17	H29年度6回開催 「フランス音楽ジョイントコンサート」(5/20) 「風薫る歌とピアノのハーモニー」(7/15) 「中村姉妹と行く音楽世界旅行」(10/20) 「mokti trombone quartetが送るクリスマス」(12/16) 「ピアノトリオの夕べ」(2/24) 「高松国際ピアノコンクール出場者によるコンサート」(3/17)	4	毎年多くの入場者があり、石の民俗資料館の人気行事(牟礼地区のコンサート)として定着しているが、29年度は目標値を下回った		石の民俗資料館
38	I	1	(4)	スポーツ教室	公益財団法人高松市スポーツ振興事業団	市民の健康増進と体力向上を図るため、各スポーツ施設の特徴を活かした各種スポーツ教室を開催する。	市民の健康増進と体力向上を図るため、123教室を実施し、延べ46,000人の参加を予定。	138教室 53,159人	5	実施教室数が増え、参加者も増加した。		スポーツ振興課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
39	I	1	(4)	市民スポーツフェスティバル	高松市市民スポーツフェスティバル実行委員会	市民参加の機会として、小学校区対抗競技10種目、水泳競技大会、トリムの祭典、高松ファミリー&クォーターマラソンを実施する。	小学校区対抗競技13種目、水泳競技大会、トリムの祭典を実施する。	小学校区対抗競技 3,323人 ※1種目が台風のため中止 水泳競技大会 353人 トリムの祭典 6,000人 参加総数 9,676人	2	小学校区対抗競技については、見直し検討委員会による参加要件の緩和等の措置を講じるものの、地元行事との日程重複、台風による一部の競技中止もあり、全体では、前年に対して、微増に留まったため。	小学校区対抗競技については、参加要件の緩和等の措置を講じるものの、ここ近年、参加者の増加に繋がっておらず、また、30年度予算が確保できなかったことから、小学校対抗競技及び水泳競技大会については、29年度をもって廃止することが決定している。なお、これに替わる健康・体力づくりを主眼とした事業について、30年度中に見直し検討委員会において、構築していくこととしている。	スポーツ振興課
40	I	1	(4)	高松スポーツカーニバル	市	広く市民にスポーツ活動への参加を促し、健康増進と体力向上、スポーツ施設への利用促進を図る。	仏生山公園等で歩く、踏み、走る、泳ぐ、投げる、体験するをコンセプトに実施する。	参加者6,978人	4	参加者数については、当日の天候やゲストの人気等により左右されるものの、イベント内容の充実に努めた結果、総じて前年を大幅に上回る参加があったため。		スポーツ振興課
41	I III	1 1	(4) (1)	市民登山学校	市	健康維持、自然保護の啓発、登山知識・技術を習熟するため。講座を実技を開催する。	月1回の講座と実技を実施する。	延べ参加者数690人	4	生徒募集において、これまで以上に各種広報媒体を活用し、広く市民に周知したことにより、前年を大幅に上回る参加となったため。		スポーツ振興課
42	I I	2 2	(1) (3)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 19か所 週6～7日開設 8,317千円×1か所 週5日開設 7,803千円×17か所 小規模型 2,694千円×1か所 (利用者支援事業5日型 7,066千円×1か所)	私立保育所及び認定こども園に委託(旧センター型) 19か所 週6～7日開設 8,317千円×1か所 週5日開設 7,803千円×17か所 小規模型 2,694千円×1か所 (利用者支援事業5日型 7,066千円×1か所)	5	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため		こども園総務課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	I	2	(1)									
43	I	2	(1)	地域子育て支援拠点事業	市(委託、直営)	乳幼児及び保護者が相互交流する場を開設し、子育てについての相談、情報提供、助言など支援を行う。	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 週6日開設8,317千円×2か所 週5日開設7,803千円×7か所 加算事業 1,398千円×2か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川保健センター内2,599千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 6,238千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,803千円×1か所 子ども・子育て支援交付金事業	NPO法人等に委託(旧ひろば型) 9か所 委託料 7,842千円×6か所 8,364千円×1か所(週6日) 9,778千円×1か所(週6日・出張ひろば) 9,256千円×1か所(出張ひろば) ・直営 1か所(小規模型、経過措置) 香川地域活動センター内 2,685千円 ・直営 1か所(旧センター型) はらこども園内 6,084千円 ・小児科医院に委託(旧センター型) 7,842千円×1か所 子ども・子育て支援交付金事業	4	若干の利用者減はあったものの、子育て親子の交流の場を提供し、情報交換や不安解消に大いに貢献している事業である。		子育て支援課
44	I	2	(1)	地域子育て推進事業	市(委託、直営)	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所等を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	私立保育所及び認定こども園 16か所(委託料500千円/か所) 市立保育所及び認定こども園 26か所(直営)	私立保育所及び認定こども園 17か所(委託料500千円/か所) 市立保育所及び認定こども園 26か所(直営)	4	事業を実施した箇所数が設定した数値に達したため		こども園総務課
45	I	2	(1)	地域子育て推進事業	市(委託、直営)	子育て家庭の不安を軽減するため、保育所等を地域に開放し、育児相談や子育てサークル支援等を行う。	市立保育所及び認定こども園 26か所(直営)	市立保育所 20か所 市こども園 6か所 合計26か所で実施	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。		こども園運営課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
46	I	2	(1)	はじめてのパパママ教室	市	はじめての出産を迎える夫婦を対象に、妊娠中の生活や出産・育児について講義と実習を行う。	日曜コース(桜町12回) 平日コース(桜町4回) 地区コース(平日1回、土曜1回、日曜6回) 計24回実施。 各総合センターで2回実施することにより、全体の回数を増やし、さらなる父親の育児参加の促進を勧める。	日曜コース(桜町12回) 平日コース(桜町4回) 地区コース(平日1回、土曜1回、日曜6回) 計24回実施。	5	計画通り実施できた。出産前後の父親の役割を伝え、妊婦体験や沐浴・着せ替え体験してもらい、父親の育児参加の促進を図れた。		保健センター
47	I	2	(1)	子育て力向上応援講座	市	就学時健康診断等の機会を活用し、就学前児童の保護者を対象に、家庭教育の専門家等による講座を開催する。	市立小学校(就学時健康診断):47講座 市立小学校(入学説明会他):48講座 市立幼稚園・こども園:29講座 市立保育所:10講座 私立幼稚園、市民グループ:5講座	市立小学校(就学時健康診断):47講座 市立小学校(入学説明会他):48講座 市立幼稚園・こども園:26講座 市立保育所:2講座 私立幼稚園:2講座 教育フォーラム:2講座	4	実施開催数は予定回数を下回るが、概ね開催することができた。		生涯学習課
48	I	2	(1)	家庭教育講演会	市	次代を担う子どもたちの健全育成、家庭教育力の向上のため、保護者を対象に専門講師による講演会を開催する。	平成29年10月21日(土) 場所:生涯学習センター 講師:伊丹 恵理奈氏 演題:未定	日にち:平成29年10月21日(土) 場所:生涯学習センター 講師:伊丹 恵理奈氏 演題:「怒ってもいいんです!~親子の信頼関係が深まる叱り方のコツ~」 参加者数:170人	5	予定どおり実施でき、参加者は共催の市P連の協力もあり、前年度よりも増やすことができた。		生涯学習課
49	I IV	2 1	(1) (1)	家庭教育情報テレビ事業	市	7月の家庭教育月間に高松ケーブルテレビ「ホットライン高松」において、家庭教育・子育てに関する情報を放映する。	放送期間:平成29年7月16日~31日 講師:横山 喜一郎氏 テーマ:「基本的な生活習慣について」	放送期間:平成29年7月16日~31日 講師:横山 喜一郎氏 テーマ:「基本的な生活習慣について」	5	予定どおり実施できた。		生涯学習課
50	I	2	(1)	家庭教育学級	市	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図る。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図る。講座参加人数29,700人を目指す。	家庭における子育てなどの諸問題や家族の役割等についての学習機会を確保することにより家庭の教育力の向上を図り、講座参加人数13,550人だった。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
51	I	2	(1)	ブックスタート事業	市	4か月児相談の機会を活用し、絵本パックの贈呈、その利用方法と効用を説明し、楽しい子育て、読書への動機付けを図る。	保健センターと連携を図るとともに、ボランティアの協力を得て、保健センターほか各地域コミュニティセンター等で実施している4ヶ月相談時に絵本パックを贈呈し、その利用方法と効用の説明を行うことにより、保護者等の楽しい子育て参加を促し、読書への動機付けを図る。	4か月児相談時に、絵本パックを贈呈し、ボランティアの協力により、読み聞かせ等を行った。また、4か月児相談に参加していない世帯には、保健師が家庭訪問時に絵本パックを贈呈し、計3,508人に絵本パックを贈呈した。	5	配布実績は約95%と高い実績率を保っており、着実な成果として表れている。ほぼ全ての対象者に、絵本パックを贈呈できているため。		中央図書館
52	I	2	(2)	保育所・幼稚園への出前食育事業	市	保育所・幼稚園等において、子どもたちや保護者に講話やエプロンシアター・紙芝居等を実施し、幼児期からの正しい食習慣づくりを支援する。	15か所で実施	市立保育所 3か所 市立幼稚園 7か所 市こども園 3か所	4	事業を実施した箇所数が計画に達しなかったが、概ね実施できた。		こども園運営課
53	I	2	(2)	フードスタート運動	市	授乳期・離乳期における健康教育事業の中で、「食」についての講話や関係資料の配布を行う。	引き続き、授乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、朝食や共食の大切さ等について周知・啓発を行う。	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で「食」についての講話や関係資料の配付を行った。226回 3,500人(4か月児相談のみ)	4	授乳期・離乳期及び幼児期における健康教育事業の中で、朝食や共食の大切さ等について周知・啓発を行った。乳幼児期からの食習慣は重要であり、より効果的な啓発方法を検討していく必要がある。		保健センター
54	I	2	(2)	早寝早起き朝ごはん運動普及啓発事業	市	子どもの基本的な生活習慣の定着を図るため、就学時健康診断等の機会を活用し、啓発チラシの配布・説明等を行う。	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	・生活リズムチェック事業(小・中学校)を実施 ・食育フェスタ、学校給食展での啓発コーナーの設置 ・子育て力向上応援講座での啓発活動	4	生活リズムチェックシートの調査結果によると、朝ごはん摂取率及び起床時間の達成率は、前年度と同様に高かったが、就寝時刻の達成率がやや低かったため		生涯学習課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	I	2	(3)									
55	I	2	(3)	消費生活相談事業	市	市民からの消費生活全般の苦情や問合せに対応し、問題解決のための支援を行う。	消費生活専門相談員4名体制で相談事業実施	相談件数:2,869件	5	相談件数は28年度より増加しながら、高い問題解決率を保持している。		くらし安全安心課
56	I	2	(3)	子育て相談事業	市	子育てに関する多種多様な相談に、専門の相談員が指導・助言・情報提供などを行う。	児童福祉に見識を持つ職員が、子育てに不安を持つ保護者の相談に対し、助言や情報提供を行う。	児童福祉に見識を持つ職員が、子育てに不安を持つ保護者の相談に対し、助言や情報提供を行う。 H29相談件数 263件	4	年々相談件数が増加しており、状況に応じた対応ができた。		こども女性相談課
57	I	2	(3)	乳幼児相談・育児相談事業	市	保健師や栄養士が乳幼児の成長発達を確認し、栄養・育児等の知識や子育て情報の提供など、子どもの発達・栄養・育児等の相談を行う。	保健師・栄養士が相談事業を実施し、児の発達・成長を確認し、栄養や育児等の知識や情報提供を行う。支援の継続が必要な児や家庭に対しては、状況により関係課や関係機関とも連携し、きめ細やかな支援につなげていく。	相談事業を実施し、支援の継続が必要な児や家庭に対し、市の関係課や関係機関、NPO法人など子育て支援団体とも連携をとることができた。	5	乳幼児相談等で専門職である保健師や栄養士が児の成長発達を確認し必要な情報提供や相談を実施できた。保健センターと関係課、関係機関が連携をとることでそれぞれの役割をもって支援を継続することができた。		保健センター
58	I	2	(3)	「いじめ110番」電話相談事業	市	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、いじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。	いじめ問題の早期発見・対応に生かすため、高松市総合教育センター内にいじめ110番を設置し、児童・生徒、保護者等からの相談に対応する。 月～金8:30～19:00	総相談件数45件(内小学生に関するもの11、中学生に関するもの7)必要に応じて学校へつなぎ、早期の解決に至ったケースがある。	3	対応時間内の相談については専門のスタッフがしっかりと傾聴した後、アドバイスを発行っており、相談者は冷静になって次の行動に移れている。少ない相談件数については、更なる周知が必要。		学校教育課 総合教育センター
59	I	2	(3)	こどもスマイルテレホン事業	市	家庭問題・不登校・非行やいじめ等、子どもに関する悩みの相談窓口として「こどもスマイルテレフォン」を開設する。	相談件数 58件	相談件数 51件	4	相談件数は目標には到達していないが、相談者それぞれの悩みについて、相談窓口としての対応ができた。		少年育成センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
60	I	2	(3)	不登校等に関する カウンセラーによ る教育相談事業	市(委託、直 営)	適応指導教室の児童生徒をはじめ、不登校および不登校傾向の児童生徒やその保護者に対して、継続的な相談活動を行う。	支援係開設に伴い、カウンセラー等による相談の機会をさらに広げ、相談体制を充実させる。(時間増、訪問相談)	教育相談の件数は来所、電話等を合わせた総数は174件。訪問相談は3件。時間増に伴い、適応指導教室通室生へのカウンセリング並びにスタッフとの協議時間が増えた。	4	時間数が増えたことで、相談者のニーズに応えることができている。また、適応指導教室スタッフとのコミュニケーションが取れ、指導に生かすことができている。		総合教育センター
61	I III	3 2	(1) (2)	年長児童の赤ちゃ ん・出会い・ふれ あい事業	市	次代の親づくりとして、命の大切さや家庭の役割等について理解を深めるため、年長児童が乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を開設する。	中学生(10校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方などの学習及び抱き方、遊び方などの体験学習を行う。 子育て支援団体に委託し、実施することとしているが、希望校が増加する中、実施団体に限りがあるため、団体数増を目指す。	中学生(10校)を対象に、乳幼児や保護者と出会い・ふれあい・交流する場を提供し、赤ちゃんとのかかわり方などの学習及び抱き方、遊び方などの体験学習を行った。 実施団体:7団体	4	実施中学校、実施団体ともに増えているが、更なる実施校数・団体数増が望ましい。 子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりへの貢献度は大きく、次代の親づくりを推進するとともに少子化対策にも効果的な事業である。		子育て支援課
62	I	3	(1)	保育所・幼稚園等 への芸術士派遣事 業	市(委託)	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行う。 保育所・子ども園 29か所 幼稚園 11か所	子どもの感性や創造力を育むため、保育所・幼稚園等に芸術士を派遣し、日々の保育の中で、絵画や造形、音楽など様々な表現活動を行った。 保育所・子ども園 29か所 幼稚園 11か所	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。		こども園運営課
63	I	3	(1)	学校巡回芸術・能 楽教室	公益財団法人 高松市文化芸術財団 (委託)	市内の小中学生を対象に、生の芸術鑑賞・体験の機会として、日舞・洋楽、古典芸能等を巡回公演する。	平成29年度においては、芸術教室は歌、邦楽、落語、雅楽等の鑑賞の機会を提供する。 能楽においては能楽、囃子、狂言の3項目を実施する。	芸術教室 19校 7,983名 能楽教室 6校 3,243名 全 25校 11,226名が観賞した。	4	開催校が前年度より2校減少したが、子どもたちの感想や反応が良く、実施したすべての学校が、今後も実施したいとの回答であったため、メニュー内容の充実と努め、開催校増加に繋がるようにする。		文化芸術振興課



取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
64	I	3	(1)	ものづくりふれあい教室	高松市生活文化協会(委託)	市内の小中学生を対象に、手作りでものづくりにチャレンジする機会を提供し、ものの大切さを体験する。	洋裁、和裁、手芸、マスコット人形作りの4コース9メニューで実施する。 【洋裁コース】コサージュ、かわいい小物入れ、クリスマスマスコット 【和裁コース】かわいい金魚、お手玉 【手芸コース】メッセージボトル、フォトフレーム、ハンカチも入るティッシュ入れ 【マスコット人形作りコース】ウッドピース人形	全16校、22授業を実施。	4	毎年継続して開催を希望する学校が多いことに加え、できあがった作品が学校行事や地域との交流に活用されることもあり、児童生徒にとって、もの大切さを実感できる機会がより一層広がっているといえるため。		文化芸術振興課
65	I	3	(1)	美術館学習	市	子どもたちが豊かな感性と未来の鑑賞者としての資質を育むため、美術館での鑑賞・施設学習を実施する。	従来の美術館学習に加えて、こども未来館学習との連携により、さらに多くの参加を促す。	参加校 53校 ・サンクリスタル学習での参加 8校 ・それ以外での参加 45校	5	蜷川実花展がその人気ゆえ夏休み時期にもかかわらず美術部等の形で訪れたケースもあり、前年度よりも参加数が増加した。		美術館美術課
66	I	3	(1) (3)	総合的な学習の時間活性化推進事業	総合的な学習の時間活性化推進事業実施校(補助)	総合的な学習の時間の活性化を図るため、地域社会の人材活用や児童生徒の体験活動の充実を図る。	総合的な学習の時間の活性化を図るために、地域の人材を積極的に活用し、児童生徒の体験活動の充実を図る。	各小・中学校の総合的な学習の時間において、学習の目的に応じた地域人材を活用して、体験活動を大切にしながら、探究的な学習を進めている。	5	各小・中学校で、地域人材を有効活用し、体験活動を大切にした学習を進めている。今後は、各小・中学校で、さらに地域人材を開発し、目的に応じて地域人材を活用していくことも考えていく。		学校教育課
67	I	3	(1)	子ども環境学習交流事業	市	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組みを発表するなど学習交流の活性化を図る。	ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育のほか、小中学校の環境学習の取組等を発表するなど学習交流の活性化を図る。	市内小学校23校、86名の児童の参加	5	市内の小学校の約半数の学校の参加を得た。また、ごみ処理・廃棄物再生利用施設の見学やリサイクル体験を通じた実証的な環境教育及び、各校での環境学習の取組発表により、環境保全意識の高揚がうかがえる感想を得る。		学校教育課
68	I	3	(1)	水資源教育推進事業	市(県補助)	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地巡りの旅」を実施する。	中学生を対象に、香川用水・水資源の重要性についての理解を深めるため、「香川用水の水源地巡りの旅」を実施する。	市内中学校17校、2,810名の参加	5	市内の中学校の約3分の2以上の学校の参加を得た。池田ダム、早明浦ダムの他、香川用水に関係のある施設を見学することにより、水資源について考える機会となった。		学校教育課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
69	I	3	(1)	職場体験学習	小中学校	児童生徒の実態や発達段階に応じて、社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じた社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	児童生徒の実態や発達段階に応じた社会体験・職場体験活動等を通して、望ましい勤労観・職業観を育む。	5	児童生徒は、職場見学や職場体験学習を通して、学ぶことと働くことの関連性に気付いたり、社会的に生きることの尊さを実感したりした。また、事後の学習発表会では、学習で学んだことを、同級生や下級生と共有することができた。		学校教育課
70	I	3	(1)	学校教育における食育推進事業	市	学校給食を中心とした食育の取り組みを紹介するとともに、食の現状や課題への理解を深め、食の大切さを伝えるために、「食育セミナー」を開催する。	高松市朝日新町学校給食センターで、年4回(7月、8月、11月、12月)実施予定。	高松市朝日新町学校給食センターで年4回(7月、8月、11月、12月)実施。  7月 朝日センター見学会 20組42人 8月 子ども料理教室 8人 11月 収穫体験 6組13人 12月 親子料理教室 12組26人	4	調理場見学会や料理教室等の食育セミナーを通して、学校給食や食への関心を高め、食生活を見直す機会を提供することができた。ただ、参加者数が少ないものがあるので、募集方法等の検討が必要である。		保健体育課
71	I	3	(1)	サンクリスタル学習	市	主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施する。	主に小学校6年生を対象に、歴史資料館・菊池寛記念館・図書館での体験学習「サンクリスタル学習」を実施した。	4	前年度と比べ参加校が減少しているが、小学校高学年の行事としてほぼ定着している。		歴史資料館 菊池寛記念館 中央図書館
72	I	3	(1)	伝統的ものづくり学校巡回教室	市(伝統的ものづくり関係事業者へ体験教室の委託)	高松市の伝統的ものづくりに関する理解と関心を深める普及啓発、人づくりの推進を目的とし、地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場であると同時に、未来を担う小中学生のシビックプライドの醸成・職業選択につながるもの、場を創出する。	伝統的ものづくりを行う職人を学校へ派遣しワークショップを開催する。予算縮小により平成28年度より規模を縮小して開催予定。 ・香川漆器コース(約75名) ・庵治石コース(約75名)	伝統的ものづくりの職人を派遣し、高松市内の小中学校にてワークショップを開催した。 ・香川漆器コース(2校 69名) ・庵治石コース(2校 69名)	3	当初予定通り4校の小中学校にてワークショップを開催。地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ場を提供するとともに、自分の住んでいる都市に対する「誇り」や「愛着心」の醸成に寄与することができたと考えられるため。		産業振興課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
73	I	3	(1)	こども未来館学習	市	こども未来館学習は、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施する。	・こども未来館学習の実施	・こども未来館学習・・・54校実施(瀬戸・高松広域連携中核都市圏の小学校6校含む。)	5	設定した目標が達成されている。		こども未来館
74	I I	3 1	(2) (2)	みんなで人権を考える会	市、人権尊重都市たかまつ市民会議(共催)	人権意識の普及・高揚を図るため、幼児児童生徒・保護者・社会教育団体等による人形劇・合唱の発表などを行う「みんなで人権を考える会」を開催する。	「みんなで人権を考える会2017」をサンポート高松 大ホールで開催する。	平成29年7月23日「みんなで人権を考える会2017」をサンポートホール高松 大ホールで開催し、588名の参加者があった。(出演団体)	4	開催時期等、出演団体や内容を工夫し、参加者を増やす取組が必要である。		人権教育課
75	I	3	(2)	人権教育研修	市	様々な人権問題の解決を図るため、幼稚園・小中学校ごとにPTAを対象とした人権・同和教育に関する講演会等を開催する。	5市こども園・25市立幼稚園・47小学校・23中学校・1高等学校で開催。	6市こども園・23市立幼稚園・47小学校・23中学校・1高等学校で開催。延べ26,579名参加	4	すべての市立幼稚園・小中学校・高等学校において開催できた。		人権教育課
76	I	3	(3)	消費生活教育出前講座	市	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマとした小学生高学年対象の出前講座を実施する。	新しい時代に対応できる自立した消費者の育成・意識高揚のため、金銭教育の一環として、買い物テーマにした小学高学年対象の出前講座を実施する。	実施回数:10回	4	事業実施後の感想文等から理解度や満足度が高かったことが確認されたが、実施回数は、28年度と同数だったので今後、実施回数を増やしたい。		くらし安全安心課
77	I I III	3 4 1	(3) (3) (3)	放課後子ども教室	市	放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して、地域の人々の参画のもと、子どもたちに学習や様々な体験・交流活動の機会を提供する。	新たに12校区での開設を目指す。	新規に2校区(弦打、高松第一)で子ども教室を開設し、34校区で実施した。未実施校区での開設を目指し、地域関係団体へ直接出向き、制度説明等を実施した。	3	目標を下回ったものの、実施校区数を着実に増やしており、放課後における子ども健全育成に貢献している。		子育て支援課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	I	II	III									
78	I	3	(3)	地域に開かれた幼稚園づくり推進事業	市	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施する。	幼稚園を地域に開放し、園庭開放や園児と未就園児親子の交流活動、子育て情報提供・相談等を実施するとともに、安心して参加できるよう環境整備を行う。	市立幼稚園 23か所で実施	5	当初の予定どおり事業を実施することができた。		こども園運営課
79	I	3	(3)	子ども動物愛護教室	市	子どもの頃から動物の正しい飼い方・接し方を身につけるため、夏休み中に小学生を対象に、動物とのふれあいを通じた学習教室を開催する。	夏休み親子教室は動物愛護の応募者が予測を超えてかなりの数があったこと、また、本当の動物のふれあいを通しての学習であるため、伝わりやすいことなどから、本年度については、費用対効果があまりみられない出前教室にかわり、親子教室へシフトしていくことを検討している。	夏休みの自由研究等にとりあげられるよう、夏休み親子教室を開催し、動物とのふれあい等を通して動物愛護や適正飼育を啓発した。 実施回数:3回 実施人数:54人	5	参加者を公募し、親子参加型や動物とのふれあいなど体験型学習にすることで、参加者が真剣に学ぶ姿がみられ、充実した内容となった。		生活衛生課
80	I	3	(3)	学校体育施設開放事業	市	市内全小学校体育施設(自主管理方式)と中学校は指定校方式で、学校体育施設の開放を行う。	市民の体力づくりや健康増進を始め、余暇の利用にも寄与する、身近で有益なスポーツ施設としての学校体育施設について、学校教育活動に留意する中で開放を行う。	利用者数47,046人	4	国分寺中学校の体育館の天井改修工事による休館期間があったが、前年度とほぼ同様の数値となっている。		スポーツ振興課
81	I	3	(3)	スマイルあいさつ運動	市	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	学校・家庭・地域社会が一体となり地域ぐるみで子どもを育てる活動の一環とし「スマイルあいさつ運動」を実施する。	5	高松市内の全小学校で実施された。この活動を通して、地域の方は、児童生徒の健やかな成長を地域をあげて取り組む必要性を再認識し、学校や児童・生徒は地域の方とあいさつを通して触れ合うことで、地域の方に見守られているということを実感することができた。		学校教育課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
82	I	3	(3)	学校評議員制度推進事業	市	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、学校評議員会を設置する。	地域社会に開かれた学校づくり、家庭・地域との連携協力、特色ある教育活動の展開のため、保護者や地域の意見を幅広く聞く場として、高松型地域学校連携システム(仮称)への移行を目指す。	学校評議員会を設置することで、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開することができた。	5	地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携しながら、特色ある教育活動を展開することができたため。		学校教育課
83	I	3	(3)	中学校運動部活動講師派遣事業	市	運動部活動のうち、技能の取得過程で危険を伴う競技(柔道・剣道・なぎなた)を対象に、専門性等に優れた外部指導者を派遣する。	武道部活動の指導ができる教員がいない学校からの希望に対し、高い専門性と優れた人間性を有する指導者を講師として委嘱・派遣する。	外部指導者について、柔道3人、剣道5人、なぎなた1人を9校に派遣した。	5	講師派遣希望があった全学校に講師を委嘱・派遣し、生徒への技術的な面や精神的な面での指導、並びに部活動担当教員に対して指導方法等の助言ができた。		保健体育課
84	I	3	(3)	青色パトロールによる巡回強化事業	市	視認性の高い青色回転灯を広報車に整備し、児童・生徒の安全確保を図るため、登下校時等に巡回活動を実施する。	青色回転灯付き公用車による巡回回数 750回	青色回転灯付き公用車による巡回回数 815回	5	通常ルートの登下校時の巡回活動はもとより、危険性・緊急性の高い事案の発生した地域には臨時に巡回活動を実施した。		少年育成センター
85	I	4	(1)	高松市民大学・屋島カレッジ事業	高松大学生涯学習教育センターと共催	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催する。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数1,170人を目指す。	市民の教養を高め地域文化の振興を図る「高松市民大学」、歴史・文化・自然・観光など郷土の良さの再確認を図る「屋島カレッジ」など、高松大学と共催で各種講演会を開催し、講座参加人数800人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
86	I I	4 5	(1) (1)	センター利用促進事業	市	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催する。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,800人を目指す。	幅広い年齢層の市民が気軽に利用できるようコンサートや映画上映会のほか、関心の高い趣味・教養分野の講座を開催し、講座参加人数2,841人だった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。		生涯学習センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
87	I	4	(1)	まなびCAN・CSR教室	市	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催する。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数790人を目指す。	CSR(企業の社会的責任)という考え方にに基づき、生涯学習センターで、地元企業や個人事業者が生涯学習の観点から社会貢献を進める講座等を開催し、講座参加人数819人だった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。		生涯学習センター
88	I	4	(1)	他団体との連携事業	市	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催する。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数315人を目指す。	国・県等の講師派遣制度の活用をはじめ、公的機関・庁内各課、コミュニティセンター等と連携した講座を開催し、講座参加者数516人だった。	5	講座参加人数は、目標を上回った。		生涯学習センター
89	I	4	(1)	遺跡発掘現場等公開事業	市	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果(遺構・遺物)を、現地で速報的に公開する。(毎年2~5回程度、不定期に開催)	市内の遺跡発掘調査現場の調査成果を現地で速報的に公開する(2~5回程度、不定期に開催)	高松城跡桜御門石垣と石清尾山古墳群の見学会を実施した。	3	開催回数が2回と少なく、目標値には届かなかったが、前年度より参加者数は増加した。		文化財課
90	I	4	(1)	出前(出張)埋蔵文化財事業	市	市内の埋蔵文化財(高松城跡・屋嶋城跡・石清尾山古墳群等)について、学校や市内の各種団体等の依頼により、現地等で説明・周知活動を行う。	市内の埋蔵文化財(高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群等)について、前年に引き続き実施する。	市内の埋蔵文化財(高松城跡、屋嶋城跡、石清尾山古墳群等)について出前講座を実施した。	4	市民や学校からの要望が多く、昨年度を上回る実績があり、目標値に近い参加者数であった。		文化財課
91	I	4	(1)	文学探訪事業	実行委員会(補助)	県内・近県の文学館や文学ゆかりの地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施する。	姫路市方面の文学にゆかりのある地を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を10月下旬に募集定員40人の日帰りバスツアーで実施する。	10月31日に兵庫県姫路市の姫路文学館及び姫路城を訪ね、文学への理解と関心・教養の向上に資するため文学探訪を実施した。	1	参加者が思うように集まらず、目標を達成できなかった。	日帰り可能な文学館をほぼ行き尽くしてしまったため、参加者が減少したことから、一度休止し、今後は新たな事業への変更も含め検討する。	菊池寛記念館

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
92	I	4	(1)	文芸講座	市	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などを講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座を開催する。	郷土で活躍する作家や歌人、大学教授などの文化人を講師に、幅広い分野の親しみやすい文学講座(1回の定員80人)を菊池寛顕彰会と共催で年間10回開催する。	6月～3月の期間、毎月第1土曜日に、地域文芸の振興を図るため、郷土等で活躍する大学教授などを講師に幅広い分野の親しみやすいテーマで文芸講座を10回開催した。	4	成果は上がっているが、受講人数が目標に達していない回があるので、共催の菊池寛顕彰会の協力も得ながら、より多くの市民が参加したくなるような工夫が必要。		菊池寛記念館
93	I	4	(2)	節水など水に関する教育	市	「上下水道知ってトーク」を開催し、水環境についての理解と協力・意見交換を図るほか、節水など実践行動につなげるため、コミュニティセンター・学校等に出向き説明を行う。	「水の上手な使い方」や「節水」をテーマとした「上下水道知ってトーク」を実施する。また、イベント等で機会をとらえ、様々な方法で水の有効利用を呼びかけるとともに、節水器具を紹介する。	8回	5	市内小学校における授業形式での「上下水道知ってトーク」は、実験を含んだ内容のため好評を得ており、毎年、一定数の開催依頼を受けている。その他、節水や災害に対する意識の向上を受け、コミュニティセンター等の講座としても開催依頼を受けている。		香川県広域水道企業団 高松事務所 総務課
94	I I I	4 1 3	(2) (1) (1)	交通安全教室	市	市民の交通安全意識の向上を図るため、幼稚園児・小学生のほか、高齢者を対象とし、年齢に応じた交通安全教室を実施する。	市民の交通安全意識の向上を図るため、年齢層に応じた交通安全教室を引き続き実施する。	実施回数:1,551回	4	実施回数が昨年度より214回増加したことは評価できるが、地域での効果的な実施方法等について、さらなる検討の余地はある。		くらし安全安心課
95	I	4	(2)	市政出前ふれあいトーク事業	市	市政の仕組みや取り組んでいる事業・施策、今後の検討課題等について、設定テーマに応じて、出向き説明および情報提供・意見交換を行う。	市政出前ふれあいトークのPR・受付業務	広報たかまつを始め、本市ホームページやプレスリリースなどを活用し、効果的にPRを行った。	4	実施回数が、目標値を上回ることができた。		広報広報課
96	I	4	(2)	市場DE自由研究事業	市中央卸売市場運営協議会	市場見学等により、生鮮食料品等に触れる機会の提供、市場の機能や流通システム等について学習する。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施予定。	青果部、水産物部、花き部について2回ずつ、合計6回実施した。各回とも募集組数15組(親子2名で1組)のところ約1.3倍の応募があり、抽選を行った。	5	毎回多数の応募をいただき、抽選を行っている。夏休みの自由研究が完成するように、視覚・嗅覚・触覚・味覚で感じ取れる体験型の内容に務めており、アンケートでも満足度が高い。		市場業務課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
97	I	4	(2)	自主防災組織等育成（自主防災訓練支援のための非常食の助成）事業	地域コミュニティ協議会 自主防災組織(補助)	大規模災害時の防災活動に対応できるよう、コミュニティ協議会等と連携し、地域の実践的な防災訓練に使用する非常食の助成などの支援を行う。	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食を44コミュニティ全てに助成するなどの支援を行う。	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食を44コミュニティの内、39コミュニティに助成し、訓練を実施した。	4	地域の実践的な防災訓練に使用する非常食の助成が100%になるように目指したが、88、6%の助成となった。		予防課
98	I II	4 2	(2) (1)	早明浦ダム周辺ボランティア清掃事業	市	水源地への感謝を表し水源地域との交流を図るため、毎年11月の湖畔マラソン前にダム周辺の清掃活動を実施する。	11月に、早明浦ダムで開催される湖畔マラソンのコースとなる道路の清掃を実施。参加者は、上下水道局広報紙「みんなの水」等で募集。事業費はバス賃借料等。 地元水源地については、地元団体の清掃実施に合わせ、実施予定。	早明浦ダム周辺ボランティア清掃については、平成29年11月11日(土)に実施し、公募市民69名を含む136名が参加した。 地元水源地清掃については、12月に奈良須池の清掃を行った。	5	早明浦ダム周辺ボランティア清掃については、毎年、応募者数が定員を大幅に超える状況が続いており、水源地域に対する理解と関心を高め、かつ、水資源の大切さに対する意識啓発に寄与できている。		香川県広域水道企業団 高松事務所 総務課
99	I	4	(3)	児童館事業	市	子どもの遊びの拠点・居場所として、遊びや生活を通して子どもの発達の増進を図るほか、子育て家庭への相談・援助、交流の場の提供等を行う。	利用人数 55,000人	利用人数 60,528人	5	目標値を大幅に上回っており、児童の健全育成と、子育て中の保護者の居場所づくりなどに貢献している。		子育て支援課
100	I III	4 1	(3) (3)	子どもわくわく体験支援事業	実施団体 (補助)	子どもの創造力や積極性・社会性を育む機会として、市内の自然・歴史・町並み等を活用した体験活動を実施する団体等への助成を行う。	団体数・・・5団体。 団体が実施するイベントの視察を行う。	団体数:3団体 【事業1】 事業名: なわ×なわジャンプ！Vol.8～なわとびの楽しさ無限大～ 参加人数:約230人 【事業2】 事業名: 和の食文化を見直そう！『みそ作り』調理体験 参加人数:19人 【事業3】 わいわい寺子屋～春の公園で手作り体験 参加人数:9人	3	団体数が、計画していた団体数に満たなかったため。		生涯学習課



取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	I	III	(3)									
101	I	4	(3)	新春子どもフェスティバル	市	毎年2月第1日曜日に中央公園を中心に、校区対抗「かるたとり・ドッジボール・すもう大会」、自由参加の創作コーナー等多彩なプログラムで開催する。	開催予定日:平成30年2月4日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか)	開催予定日:平成30年2月4日(日) 場所:高松市立中央公園、市役所、四番丁スクエア、体育館 内容:校区対抗(かるたとり、ドッジボール、すもう)自由参加(創作コーナー、遊び名人コーナーほか) 参加人数:約5,000人	4	予定通りの開催に至り、例年通りの参加があったため		生涯学習課
102	I	4	(3)	子ども会フットベースボール大会	市	子ども達がスポーツを通して交流し友情を育む機会として、校区子ども会を対象にフットベースボール大会を開催する。	開催予定日:平成29年9月3日(日) 開催場所:高松市西部運動センター	開催予定日:平成29年9月3日(日) 開催場所:高松市西部運動センター 参加チーム:男子の部19チーム、女子の部14チーム 総勢:396人	4	大きな混乱もなく、予定通り実施できたため		生涯学習課
103	I	4	(3)	高松・嶺北子ども交歓会	市	市の水源地である早明浦ダム周辺・嶺北地域の子どもの達と市の子ども達が交流し、水の大切さや有効利用を学び、集団活動を通して友情を育む機会として、交歓会を開催する。	開催予定日:平成29年11月3日～4日(1泊2日) 場所:生涯学習センター、御殿浄水場、水道資料館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	開催日:平成29年11月3日～4日(1泊2日) 場所:eとびあかがわ、新屋島水族館ほか 共催:高松市子ども会育成連絡協議会	4	混乱なく、例年通り開催することができた		生涯学習課
104	I	4	(3)	こども農園事業	市(農園主補助)	子どもが生活の中で自然と取組み、土に親しみ植物を育てる喜びと勤労の尊さを体験する機会として、農園主にこども農園事業として助成し、校区の子ども会等が活用する。	市内12校区17農園	市内10校区14農園	3	前年度より減少したが、農地が宅地化しているなかで、取り組んでくれている。		生涯学習課
105	I	4	(3)	埋蔵文化財センター体験学習	市	埋蔵文化財への興味・関心を高めるため、四番丁スクエア内の埋蔵文化財センターで、鋳造・瓦製作体験学習を行う。	鋳造・瓦製作・勾玉製作等の体験学習 その他、体験学習行事 (夏休み限定の体験学習を実施予定)	・埋蔵文化財センターにおいて鋳造・瓦製作・勾玉製作等の体験学習 ・出前体験学習 ・夏休み限定(高松城・屋嶋城)体験学習 ・新春子どもフェスティバル共催体験学習	5	他のイベントとの共催事業や市役所全体での夏休み関係講座のチラシに掲載するなどの効果により、当初の想定を上回る実績を上げることができた。		文化財課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
106	I	4	(3)	香南歴史民俗郷土館 子ども講座	市	香南歴史民俗郷土館で、夏休みを中心に、郷土の歴史文化を体験する、子ども講座を開催する。	H29年度10講座開催予定(仮称) 「勾玉を作ろう」 「親子お手玉教室」 「化石のレプリカを作ろう」 「手習草子(書道教室)」 「プリザーブドフラワー教室」 「土鈴を作ろう」 「土笛を作ろう」 「化石のクリーニング」 「ミニ土偶を作ろう」 企画展関連講座「プラモをつくろう」	H29年度8講座開催 「化石のクリーニング」(7/23) 「ミニ埴輪をつくろう」(7/26) 「手作りティッシュカバー教室」(7/29) 「クレイ粘土とお花のケーキアレンジ」(7/29) 「プラモ(ミニ四駆)をつくろう」(7/30) 「手習草子(書道教室)」(8/1) 「化石のレプリカをつくろう」(8/6) 「勾玉をつくろう」(8/8)	3	計画より講座数が減少し、定員を下回った講座もあったが、概ね好評であった。		香南歴史民俗郷土館
107	I	4	(3)	伝統的ものづくり 夏休み親子体験教室	市(伝統的ものづくり関係事業者へ体験教室の委託)	親子で本市の伝統的ものづくりへの理解と関心を深め、普及啓発を図ることを目的とし、夏休みの宿題解決や子どもと大人が一緒に地域の伝統的ものづくりにふれあい、学ぶ体験の場にすると同時に、シビックプライドの醸成につながる場を創出する。	産業振興課分はゼロ予算。たかまつミライエと共同で実施予定。平成28年度同様、夏休み期間中に親子で体験できる教室を開催予定。(5コース×2回/各回定員親子15組)	子ども未来館より執行委任を受けて事業を実施。伝統的ものづくり夏休み親子体験教室を、8月9日(水)2コース、8月10日(木)2コースを開催。(各コース午前と午後2回)総勢120組の親子が参加。	4	総定員130組に対し、210組の応募があった。伝統的ものづくりに対する理解と関心が高く、有意義な普及活動であったと考えられるため。		産業振興課
108	I	4	(3)	子ども未来館わくわく体験事業	市	子どもの夢や想像力を育み、健全やかな成長に資するとともに、子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流を促進するため、子ども未来館において、公募によるイベントプログラムのほか、子ども未来館まつり(11月)を実施する。	・公募プログラム等の実施 ・子ども未来館まつりの実施	・公募プログラム等・・・1,489人 ・子ども未来館まつりの実施・・・852人 ・遊び体験プログラム・・・2,492人	5	設定した目標が達成されている。		子ども未来館
109	I	5	(1)	視聴覚ライブラリー	市	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行う。	視聴覚教材・機材等の利用促進を図るため、教材・機材の貸出・保存を行った。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
110	I	5	(2)	コミュニティセン ター整備事業	市	コミュニティセンターの改築につ いて、現施設の有効活用を基本 とした中期整備指針を策定し、こ れに基づき実施する。	①次期整備計画策定 ②木太コミセン解体工事 ③木太コミセン改築工事 ④屋島コミセン基本設計 ⑤太田コミセン基本設計 ⑥川岡コミセン実施設計	①次期整備計画策定(完了) ②木太コミュニティセンター解体工 事(完了) ③木太コミュニティセンター改築工 事(H30繰越) ④屋島コミュニティセンター基本設 計(完了) ⑤太田コミュニティセンター基本設 計(完了) ⑥川岡コミュニティセンター実施設 計(H30繰越)	4	木太コミュニティセンターにつ いては、H29年12月に改築工 事を発注しており、H31年2月 のオープンに向けて、予定ど おり進捗しているが、川岡コ ミュニティセンターについて は、地元の調整等に時間を要 したことから、年度内に完了で きなかった。		地域振興課
111	I	5	(3)	エコホテルの利用 促進事業	市	南部クリーンセンターで施設見 学、親子リサイクル工作会、環境 パネルの展示・環境啓発DVDの 視聴等。	・施設見学、体験学習事業(紙すき等) ・施設紹介・分別収集啓発用パンフレット の印刷及び配布 ・夏休み親子工作会 6回開催予定 ・夏休み親子見学会 6回開催予定	夏休み親子施設見学会が台風た め、1日中止となったが、夏、冬 の親子工作会をはじめ、小学生や一 般の施設見学など、概ね計画通り に実施できた。(利用者総数 3,113人)	4	利用者数は目標数値を達成し たが、新たな企画事業の実施 など、より一層の利用者獲得 のために課題もあるため。		南部クリーンセ ンター
112	I	5	(3)	特別展・常設展等 展示事業	市	近代絵画や工芸、サブカル チャーなど幅広いジャンルをバラ ンスよく企画し、特別展・常設展を 開催する。	特別展13回、常設展7回の実施を予 定。	(市美術館)特別展5展(53,290人)、 常設展4展(26,914人) (塩江美術館)企画展8展(5,827人)、 常設展3展(5,776人)	5	設定した目標が達成され、十 分成果が上がっているため。		美術館美術課
113	I IV	5 1	(3) (2)	瀬戸内アートネッ トワーク事業	市	近隣美術館との連携を図るため、 県内主要美術館で、共通パンフ レットの作成、入館割引やスタン プラリーを実施する。	スタンプラリーを実施する。	スタンプラリー応募者数 220人	5	設定した目標が達成され、十 分成果が上がっているため。		美術館美術課
114	1	5	(3)	子どものアトリエ 事業	市	展覧会関連事業として、表現の 可能性を楽しんでもらう美術講座 「子どものアトリエ」を開催する。	子ども+(子どもアートスペース)を活用 し、「子どものアトリエ」等を実施する。	実施回数 13回 参加者数 1,447人	5	設定した目標が達成され、十 分成果が上がっているため。		美術館美術課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
115	I	5	(3)	アートで遊ぼう！ (鑑賞プログラム)	市	鑑賞教育の充実を図るための鑑賞プログラム「アートで遊ぼう！」を実施し、学芸員とともに美術作品の鑑賞を行う。	「アートで遊ぼう！」を実施する。	実施回数 6回 参加者数 53人	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。		美術館美術課
116	I	5	(3)	企画展・常設展等 展示事業	市	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示・企画展・収蔵品展・ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「プレイバック高松」、企画展「さぬきのFOOD(風土)」、収蔵品展「戦国時代の高松市(仮称)」、企画展「自然へのまなざし、描かれる動植物たち(仮称)」、ロビー展等を開催し、収蔵資料を紹介・公開する。	原始・古代から現代までの高松の歴史を常設展示、収蔵品展「プレイバック高松」、企画展「さぬきのFOOD(風土)」、収蔵品展「戦国時代の高松市(仮称)」、企画展「花鳥画の系譜 東溪と南蘋派」、ロビー展等を開催し、資料を展示・公開した。	4	前年度と比べ観覧者数が減少したが、概ね好評であった。		歴史資料館
117	I	5	(3)	文学展事業	実行委員会 (補助)	貴重な文学資料を鑑賞し、文学への理解と関心を高める機会として、菊池寛ほか郷土ゆかりの作家等の文学展を開催する。	9月16日～10月22日の会期で第26回文学展「没後90年 芥川龍之介—その青春と友情」を開催、企画展示をはじめ特別行事により、文学への理解と関心を高める機会を提供する。3名の講師による座談会形式の記念講演会も11月23日に開催予定。	9月16日～10月22日の会期で第26回文学展「没後90年 芥川龍之介—その青春と友情」を開催、企画展示をはじめ特別行事により、文学への理解と関心を高める機会を提供するとともに、人気のゲームとコラボをして間口を広げた。また3名の講師による座談会形式の記念講演会も11月23日に実施した。	5	目標が達成され、十分な成果が上がっている。		菊池寛記念館
118	I	5	(3)	図書館等資料整備 事業	市	図書館サービスの向上、機能強化等を図るため、各種資料(図書・雑誌・新聞・AV資料等)・情報の収集・提供を行う。	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (79,465,000円 分室活性化事業費 2,100,000円を含む)	図書・雑誌・新聞・AV資料等の収集・提供 資料整備費 (79,429,034円 分室活性化事業 費2,073,216円を含む)	5	予算執行率が約100%であり、計画的な資料等の収集・提供ができています。		中央図書館
119	I	5	(3)	移動図書館事業	市	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な校外地域88ステーションを巡回し、図書等の貸出サービスを実施する。	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な郊外地域86ステーションと瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の直島2ステーションを含む88ステーションに巡回サービスを実施する。 160,000冊	移動図書館車3台で、図書館の利用が困難な郊外地域84ステーションと瀬戸・高松広域連携中枢都市圏の直島2ステーションを含む86ステーションに巡回サービスを実施した。 132,564冊	4	年間計画どおりのサービスを実施し、一定の成果は上がっているが、貸出冊数の増加のためにステーションの見直しが必要である。		中央図書館

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	II	1	(1)									
120	II	1	(1)	協働企画提案事業	市民活動団体等	社会的・公益的課題の解決、市民サービス向上のため、市民活動団体等の専門性・先駆性・柔軟性など特性を生かした企画提案を募集する。	平成28年度実施団体から継続申請を受け、審査を経て採択実施。また、29年度新規事業を募集し、審査を経て最大2事業を採択実施。 個々の事業にアドバイザーを選任し、事前・事中・事後に渡り、きめ細かに協議を実施し、事業のブラッシュアップを図ると共に、互いに協働事業への理解を深める。	継続事業1事業、新規事業2事業を採択実施。 継続①PROUD:「[LGBT~性的少数者って何だろう?」ぐるり出張講座とパネル展 新規①香川県難聴児(者)親の会:「[UD(ユニバーサルデザイン)たかまつ]プロジェクト!福祉・観光・教育を中心に市役所内外でICT活用によるUD先進市「たかまつ」をめざして!」 新規②あしたプロジェクト:「マイノリティに優しい未来人創成プロジェクト~自分らしいを創造する高松市へ~」 関係課及びアドバイザーとの協議をきめ細かに実施したことにより、事業のブラッシュアップが行われ、より効果的な取組につながった。また協働事業への取組に対する理解も深めることができた。	4	アドバイザーの活用、きめ細かな協議の実施等、事業の見直しの成果により、本来の協働の観点からの取組ができた成果の向上につながった。今後、行政及び市民活動団体等が互いに協働事業への取組に対する認識を深め、共通理解を図ることにより、更なる向上が期待できる。		男女共同参画・協働推進課
121	II	1	(2)	観光ボランティアガイド事業	市観光ボランティアガイド協会(補助)	観光客等の利便を図るため、市内の歴史・文化・自然・物産などを紹介するボランティアガイドを育成する。	市内(屋島山上・玉藻公園内・サンポート高松)3か所で、ボランティアガイド事業を実施。 会員の高齢化が年々問題化されているので、ガイド事業を継続するためにも研修等を通して、後継者の育成に力を入れて取り組むこと。	屋島山上・玉藻公園内・サンポートの市内3か所でボランティアガイドを実施し、昨年と同様のガイド件数を達成した。 また、若年層ガイドの取り込みを図るため、大学連携を行っており、学生ガイドの育成を目指して始動した。	3	例年と同様のガイド件数があり、観光客からは好評をいただいている。ただ、ガイドの高齢化の問題については、改善に向けて動き出したばかりであり、今後も引き続き、大学生を始めとする学生ガイドの育成を行っていくことが求められる。		観光交流課
122	II	1	(2)	美術館ボランティア事業	市	市民の美術活動の支援と展覧会鑑賞者の利便性を図るため、美術館ボランティアを設置する。	開催特別展のギャラリートーク等を実施する。	実施回数73回 参加者数1,267人	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。		美術館美術課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	II	1	(2)									
123	II	1	(2)	市民の学習成果発表の場提供事業	市	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を開催する。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を16講座開催する。	市民の学びの成果を発表することで、さらなる学習意欲の向上を図り、生涯学習の輪を広げるための講座を18講座開催した。	5	講座開催数は、目標を上回った。		生涯学習センター
124	II	1	(2)	生涯学習センター遊友塾	市	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援する。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数1,020人を目指す。	公益性のある学習課題・現代的課題をテーマに自ら企画・実施できる機会を提供し、市民参画型講座等開催を支援し、講座参加人数475人だった。	3	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
125	II	1	(2)	まなびCANこども教室	市	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催する。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数392人を目指す。	生涯学習センターにおいて、ボランティア講師による、小・中学生を対象としたものづくりや環境問題等の講座を開催し、講座参加人数300人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
126	II	1	(2)	資料館ボランティア事業	市	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展・収蔵品展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書解説ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行う。新規のサポーター数の増加を図る。	歴史資料館サポーターによる支援活動(企画展・収蔵品展ミュージアムトーク、資料整理、発送準備)、古文書ボランティアによる収蔵資料解説・データ化等を行った。	4	ボランティア活動として定着しており、増加は無いものの、活動に必要な人数を維持している。		歴史資料館
127	II	1	(2)	たかまつこどもサミット	教育委員会・高松栗林ライオンズクラブ	高松市内の小学校児童(4校程度)が各校で調査・研究した結果をテーマに基づき発表し、また、各校からの発表について子どもたちや大人が共に考え、話し合うとともに、共同宣言を行う。	研究発表校4校(予定)と傍聴・意見交換校数校、保護者、教員、市域住民等が参加して実施	開催日:平成30年1月27日(土) 場所:生涯学習センター テーマ:ウェルカム高松 発表校・内容 ①亀阜小「大好き亀阜の町の今と昔」 ②鶴尾小「子どもと大人が共につくる魅力ある高松」～鶴尾校区の夏祭り～ ③国分寺南部小「国分寺南部小Iにつつまれて」 ④栗林小「大好き!栗林公園」	5	予定どおり実施できた。		生涯学習課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	II	2	(1)									
128	II	2	(1)	市民活動センター事業	市	市民活動センターにおいて、市民活動活性化のため、情報収集・提供、学習・研修、交流・コーディネート、調査・連携、災害時対応など各種事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種講座の実施(活動支援、活動紹介等)</li> <li>NPO法人認証等事務に関する相談等</li> <li>高松市まちづくり学校</li> <li>情報収集及び発信(機関誌、HP、FB等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動支援講座(会計・労務等) 18回 145人</li> <li>活動紹介講座(みどりを楽しむ教室等) 24回 455人</li> <li>高松市まちづくり学校 地域づくりチャレンジ塾(オプション含む) 11回 294人</li> <li>みんなの学縁祭 1回 186人</li> <li>みんなでみんなの(和い輪いかい) 11回 699人</li> </ul>	4	NPO法人に関する相談事業も開始され、幅広い活動支援の充実に取り組むことができている。今後は各種団体等のニーズに合わせた、講座等を実施していくことで、更なる効果が期待できる。	男女共同参画・協働推進課	
129	II	2	(2)	大学等との連携事業	市	行政課題へ迅速かつ的確に対応するため、大学等と包括協定を締結し、多分野・多面的な連携を推進する。	引き続き、本市の行政課題の解決等を図るため、大学や金融機関などの地域の多様な主体との連携を推進する必要がある。	地域課題の解決を図る「瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備事業」を支援するとともに、多様な主体との連携を推進した。	4	大学と連携した「瀬戸内地域の活性化と地(知)の拠点整備事業」により中心市街地活性化を推進するとともに、金融機関を始めとする多様な主体との連携を行った。	政策課	
130	II	2	(2)	シルバー人材センター事業	(公社)高松市シルバー人材センター(補助)	高松市シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大し、社会参加と生きがいづくりを促進する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供する。	シルバー人材センターにおいて、働く意欲のある高齢者の就業機会を増大させ、多様なニーズに対応することで、社会参加と生きがいを得る場を提供した。	3	「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正により、65歳までの継続雇用制度等が開始され、高齢者の雇用機会が増加したことから、短時間労働を主とするシルバー人材センターにあつては、設定した目標が達成せず、成果が上がっていない。	長寿福祉課	
131	II	2	(2)	「ため池守り隊」市民活動支援事業	市民活動団体(補助)	自然環境保全のため、非農家も参加し、ため池の清掃活動等を実施する団体に補助金を交付する。	18か所(市長マニフェスト平成29年度目標)	17か所のため池で実施	3	3か所のため池において事業が廃止されたが、新規に1か所の池が実施されている。	土地改良課	

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	II	III	(2) (1)									
132	II	2	(2)	まちかど漫遊帖事業	高松まちかど漫遊帖実行委員会(補助)	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	歴史探訪・食・産業など高松の隠れた観光資源を発掘し、市民主体で企画・運営する。まち歩きガイドを実施し、観光客の誘致を図り、まちの活性化につなげる。	リピーターとなっている参加者を確保しているガイドもいる等、一部のガイドの質の向上が見受けられた。しかしながら、ガイド自身が主体性を持っていると言える状況ではなく、全体的にマンネリ傾向にあると感じられる。	3	参加を毎回楽しみにされているお客様が少なくない点は評価し得るが、新しいコースの造成意欲は各ガイドから薄れており、毎回同じ内容のものも見受けられる。各ガイドの意欲向上が求められる。		観光交流課
133	III	1	(1)	高松いきいき大学事業	高松市老人クラブ連合会(補助)	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講する。	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講する。	高松市老人クラブ連合会において、市内在住の60歳以上の高齢者を対象に、3学科(健康・文化・生活)の高松いきいき大学を開講した。 平成29年5月～平成30年2月 定員165名(各学科55名ずつ)	5	設定した目標が達成され、十分効果が上がっている。		長寿福祉課
134	III	I	(1) (5)	コミュニティセンター同好会事業	市	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行う。	コミュニティセンター等において承認を得た同好会に対して、定期利用の許可・利用料金の減免を行った。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
135	III	1	(2)	男女共同参画市民フェスティバル	男女共同参画市民フェスティバル実行委員会(補助)	高松市男女共同参画センター登録団体を中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体を中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を開催する。	高松市男女共同参画センター登録団体を中心となり、講演会の開催・パネル展・ワークショップ等を11月～12月に開催した。	4	予定通り事業が実施され、センターが中心となり、講演会のほか様々な参加団体によるワークショップやパネル展、映画等を開催した。今後は更なる参加者の増加にむけて取組む必要がある。		男女共同参画・協働推進課
136	III	1	(2)	市民活動団体ネットワーク構築事業	市民活動団体等	各種市民活動団体や教育機関等との交流会の開催など、団体同士のネットワーク構築を図る。	高松市まちづくり学校実行委員会を中心に、市民活動団体、地域コミュニティ協議会関係者等、地域づくりに関わる多様な人々たちとの連携・交流の場として、「みんなの学“縁”祭」を開催する。	たかまつでヒトヤコトがつながる ONE DAYプログラム「みんなの学“縁”祭」開催 ①地域づくりチャレンジ塾2017最終報告会 平成30年1月13日(土)市民交流プラザIKODE瓦町アートステーション 参加者186人 ②みんなで選ぶ企画賞 ③地域における実践活動事例紹介	4	「みんなの学“縁”祭」の開催により、市民活動団体等と地域コミュニティ協議会関係者の交流はもとより、互いが様々な場面で地域づくりを共に考える場を共有でき、つながる ONE DAYとなった。今後、更に多様な主体との連携交流を深めることで、ネットワークが広がると共に活動の活性化が期待できる。		男女共同参画・協働推進課



取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
137	III	1	(2)	子ども未来ネット ワーク会議	市	子育て支援団体等の相互交流・ 情報交換の場として、部門別会 議や座談会を開催し、連携・協働 を図る。	子育て支援事業を実施する団体ごとの ネットワークを構築する部門別会議を開催した。 ・地域子育て支援センター部門(2回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) 各種子育て支援事業実施団体が一堂 に会し、意見交換できる場を提供するた めに「子ども未来ネットワーク会議座談 会」を開催。(2回)	子育て支援事業を実施する団体ご とのネットワークを構築する部門別 会議を開催した。 ・地域子育て支援センター部門(2 回) ・地域組織部門(2回) ・学童保育部門(2回) 各種子育て支援事業実施団体が 一堂に会し、意見交換できる場を提 供するために「子ども未来ネットワ ーク会議座談会」を開催。(2回)	5	座談会の参加者が減少したも のの、すべての部門会議につ いて、計画通り開催できた。		子育て支援課
138	III I IV	1 4 1	(2) (2) (2)	子どもを中心にし た地域交流事業	市	地域で活動する各種団体等が協 働することにより、団体の持ち味 やネットワークを活かしながら、子 ども及び保護者並びに地域の大人 が関わる継続的な事業を実施 することで、地域の住人が顔見知 りになるほか、地域の一体感を醸 成するとともに、地域ぐるみで子 どもを育む機運を高める。地域交 流事業の一環として、通学合宿を 併せて実施することができる。	(1)地域交流事業 新規4校区、継続12校区 (2)通学合宿事業 新規2校区、継続1校区 事業を継続してもらうことにより、さらに 子どもと地域との交流の輪を広げる。	①栗林(キャンプ・夏休みラジオ体 操会等)②鶴尾(野菜収穫体験・ キャンプ・通学合宿等)③太田(ラジ オ体操・宿題ハウス)④東植田(地 域交流キャンプ等)⑤太田南(白み そあん餅雑煮・しめ縄作り等)⑥木 太北部(折鶴プロジェクト・キャンプ 等)⑦香南(ラジオ体操・クリスマス 工作等)⑧国分寺北部(田植え・稲 刈り体験・しめ縄作り等)⑨川島(農 業体験等)⑩多肥(木工教室・ラン ニング教室等)⑪国分寺南部(さつ まいも栽培、うどん作り等)⑫一宮 (ダンボール工作・ちやぐりんフェス タ等)⑬弦打(親子でスポーツ・夏ま つり通学合宿等)⑭十河(さつまい も栽培・ドミノ・通学合宿等)⑮植田 (農園・キャンプ等)⑯大野(防災教 室・まめっこ集会等)	5	子ども、保護者、地域が一つ の目標に向かって協力し、交 流しながら事業を実施でき、そ の過程でお互いを思いやる気 持ちは育めた。また、子どもの 表現力が豊かになり、地域の 人に自ら質問など働きかける ようになった。		生涯学習課
139	III	1	(3)	掃除教育「びかび かデー」	市	幼稚園・小学校で、地域の高齡 者等から掃除の仕方を学びなが ら清掃活動・心の教育を行う。	(子ども園運営課・学校教育課) 子ども園・幼稚園・小学校において、地 域の高齡者や祖父母、保護者など様々 な方から、掃除の仕方を学びながら、清 掃活動・心の教育を行う。	市立幼稚園 23か所、市子ども園6 か所 で実施。	5	当初の予定どおり事業を実施 することができた。		子ども園運営課 学校教育課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	III I	1 1	(3) (4)									
140	III I	1 1	(3) (4)	地域密着型トップ スポーツチーム交 流・連携事業	市	地域密着型トップスポーツチーム との交流・連携を図るため、ス ポーツ教室やスクールガード等 を実施する。	地域密着型トップスポーツチームとの交 流・連携を図るため、スポーツ教室やス クールガード等を実施する。	457回 31,730人	4	新リーグが発足し、B2リーグに 加盟した香川ファイブアローズ (バスケットボール)の活動が 増えたことなどにより、目標値 (前年実績)を上回る結果と なったため。		スポーツ振興課
141	III	2	(1)	地域コミュニティ 人材養成事業	市	まちづくり活動の中核を担う地域 のリーダー養成を目的とした人材 養成事業を実施する。	事業の実施方法を再検討し、実施す る。	平成30年2月17日(土)13:50～1 5:30 高松テラサ ホール  ○講師 櫻井 常矢 氏 高崎経済大学 地域政策学部 教授  ○ 講演内容 『実践に学ぶ これからの地域づ くりへのヒント』  ○ 参加者数 380名	4	地域の課題に的確に対応した 講師選定により参加者の評価 は高かったものの、これまでと 同じ方法で開催しており、より 事業効果を高めるためにも、 今後の改善が必要であるた め。		コミュニティ推進課
142	III	2	(1)	認知症サポーター 養成講座	市	認知症高齢者等に対する正しい 知識を持ち、地域で認知症高齢 者等や家族を支援するサポー ターを養成し、安心して暮らせる 地域づくりの担い手を増やす。	参加人数 目標は5,000人 ① 受講者を小・中・高・大学生等の 若い世代や見守り協定を結ぶ企業等に 継続して開催する。 ② 講座受講後、認知症サポーター が地域で認知症対策に取り組めるよう、 フォローアップ講座を開催する。	認知症サポーター養成人数 4,572人	4	目標に対して、91.4%の実績 であるため。		地域包括支援セン ター
143	III I	2 3	(1) (3)	PTA地域活動促 進事業	市	地域ぐるみ、市民ぐるみの子ども の健全育成を促進するために高 松市PTA連絡協議会への活動 を支援する。	高松市PTA連絡協議会へ運営事業、 メール配信運営事業の補助金の交付	高松市PTA連絡協議会へ運営事 業及びメール配信事業の補助金を 支出(運営事業:6月・10月、メール 配信事業:6月)	5	助成によりPTA活動の充実・ 発展に寄与した。		生涯学習課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
144	III	2	(1)	少年団体育成事業	市	校区子ども会育成連絡協議会相互の連携を図り、子ども会活動の充実と子どもの健全育成のため高松市子ども会育成連絡協議会の運営を支援する。	高松市子ども会育成連絡協議会への補助金を交付し、支援を行う	協議会へ補助金を支出	5	予定通り助成した		生涯学習課
145	III	2	(1)	青年活動推進事業	市	青年活動の振興を目指し自主的に活動する市青年連絡協議会への助成と、青年教育振興のため協議会へ参画する。	更なる青年活動の振興を図るため、市青年連絡協議会への助成を行うとともに各種会合へ参加し、会員数の増加を図る	市青年連絡協議会への運営支援として補助金を交付し、青年活動の振興を図るため、各種会合へ参加した	5	会員数増加し、各種行事、会合へ積極的に参加した		生涯学習課
146	III	2	(1)	指導者のためのセミナー	市	市民と行政との協働によるまちづくりを実現するため、また、市政への市民参画を図る推進するため、生涯学習推進の指導的役割を果たす人材を養成する講座を開催する。	県が開催している事業内容に類似していることから平成26年度より廃止。	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	生涯学習センター
147	III I	2 5	(1) (2)	生涯学習推進員養成研修	市	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催する。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数464人を目指す。	コミュニティセンター職員などの生涯学習推進員を対象に、生涯学習に関する知識・技能の向上を図るための講座を開催し、講座参加人数417人だった。	4	講座参加人数が目標に達しなかった。		生涯学習センター
148	III	2	(1)	防災講演会	市	防災士を始め、各地で地域防災に関心のある市民を対象に、地域防災に取り組むために必要な内容について、学識経験者を講師に招き、防災講演会を開催する。	防災講演会を実施予定(年1回、修了生50名程度)	実施計画のとおり、防災週間(8月30日～9月5日)に合わせ、9月2日(土)に開催した。	4	当初の予定どおり、滞りなく講演会を開催できた。		危機管理課
149	III IV	2 1	(2) (1)	環境学習・環境教育の推進事業	市	環境ワークショップ、環境学習支援事業、リサイクルアート事業、自然観察体験事業などを実施する。	環境問題への意識啓発や環境に関する基本的知識の向上を図る環境ワークショップの実施や環境情報の提供を行うとともに、コミュニティセンター等、地域で実施する環境学習支援事業(出前事業)を実施する。	環境に関する活動を行っているNPO等を講師に招き、環境ワークショップ(館内講座)や環境学習支援事業(出前事業)の実施や環境情報の提供を行い、市民の環境問題への意識啓発を図った。	4	目標参加人員には達しなかったが、市民からの要望を踏まえた内容についてNPO等と協議しながら、多岐に渡るテーマで各事業を実施した。		環境保全推進課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	III	2	(2)									
150	III	2	(2)	幼年・少年消防クラブの育成	幼少, 少年消防クラブ連絡協議会(補助)	幼少年期から防災意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	幼少年期から防火意識を高め、地域の安全・安心の担い手として育成するため、保育所・幼稚園・小中学校に幼年少年消防クラブの結成を推進する。	幼年消防クラブが統廃合により1クラブ減少した。	4	幼年消防クラブが統廃合により1クラブ減少した。		予防課
151	III	2	(2)	子ども会育成指導者養成事業	市	各校区の子ども会リーダー・ジュニアリーダー・育成者を対象に、子ども会活動に必要な実技指導の講習会を開催する。	第1回: 校区育成会新役員講習会 平成29年5月14日(日) 塩江セカンドステージ 第2回: 子ども会リーダー研修会 平成29年7月8日(土) 高知県香南市野洲 第3回: 子ども会リーダー研修会 平成29年9月30日(土)～10月1日(日) 神戸市立自然の家 第4回: 育成会指導者講習会 開催日: 未定 開催場所: 未定	第1回: 校区育成会新役員講習会 平成29年5月14日(日) 塩江セカンドステージ 参加者数: 112人 第2回: 子ども会リーダー研修会 平成29年7月8日(土) 高知県香南市野洲 参加者数: 54人 第3回: 子ども会リーダー研修会 平成29年9月30日(土)～10月1日(日) 神戸市立自然の家 参加者数: 36人 第4回: 育成会指導者講習会 平成29年11月25日(土) 高松市中央卸売市場 参加者数: 71人	5	当初の予定どおり実施できた。		生涯学習課
152	III	2	(2)	地域活動促進事業	市	地域における子ども活動の充実・拡大のため、子ども会や育成会が実施する研修会や事業に、専門的な指導・助言を行う指導員を派遣する。	派遣予定時間: 60時間 役員講習会のように単位子ども会の役員が集まる場で資料配布するなど、高松市子ども会育成連絡協議会と協力して広報に努める。	派遣時間: 22時間 派遣回数: 11回	3	子ども会の理事会などの場で、事業の啓発を行ったが、申請が少なかった。		生涯学習課
153	III I	2 2	(2) (3)	少年相談員養成事業	市	子どもの健全育成のため、悩める子ども・保護者等の地域の身近な相談相手として少年相談員の養成講座を開催する。	県に同様の事業があるため、28年度をもって廃止とし、県の講座の受講を推奨している。	28年度をもって廃止	(評価不可)	(評価不可)	(評価不可)	少年育成センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
154	III	2	(2)	よみかかせたいJ r 派遣事業	市	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみかかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。	子どもの自主的な読書活動や社会貢献への意義や重要性を養う機会として、老健施設等での「よみかかせたいJr」、「キッズ読み聞かせ隊」による読み聞かせ活動を実施する。 継続的に養成講座を開催し、読み聞かせ活動(おはなし会)を充実させる。外部から依頼があれば積極的に実施する。	子ども読書まつりでのおはなし会等図書館のイベントを中心に、計14回の読み聞かせ活動を行った。	5	依頼による外部活動は少なかつたものの、図書館のイベント中心に積極的に活動を行った。		中央図書館
155	III	3	(1)	公文書館管理運営	市	歴史公文書等の保存、利用及び調査研究並びに普及啓発を行う施設として公文書館を管理運営する。	・香南支所(旧香南町)文書整理 ・高松市分歴史公文書等の例年移管 ・公文書館利用促進	・香南支所(旧香南町)文書整理及び歴史公文書等の移管及び塩江支所(旧塩江町)文書整理 ・高松市分歴史公文書等の例年移管 ・公文書館利用促進	4	香南支所(旧香南町)の歴史公文書等の移管については概ね終了した。塩江支所(旧塩江町)文書整理については、平成30年度も引き続き行うこととなった。高松市分歴史公文書等の例年移管については、概ね終了できた。		総務課
156	III	3	(1)	南部地域スポーツ施設整備事業	市	市民スポーツの振興を図るため、「南部地域における特色あるスポーツ施設」として整備する。	建設工事	建設工事	4	予期せぬ硬質な岩盤の掘削等により工期が延長したため		スポーツ振興課
157	III	3	(1)	ヨット競技場再整備事業	市	老朽化施設を改修し、マリンスポーツを通し健康増進・相互交流・利便性の向上、競技選手の育成等を図る。	建設工事	しゅん工	5	しゅん工した。		スポーツ振興課
158	III	3	(1)	美術資料の収集	市	美術品の取得方針に基づき、系統的に美術品を購入する。	日本の現代美術や香川の工芸などの作品を収集する。	購入点数14点	5	設定した目標が達成され、十分成果が上がっているため。		美術館美術課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	III	3	(1)									
159	III	3	(1)	資料館資料の収集・調査・研究	市	歴史資料館ほか3館(讃岐国分寺跡資料館・香南歴史民俗郷土館・石の民俗資料館)の活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか各資料館活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行う。	歴史資料館ほか3館(讃岐国分寺跡資料館・香南歴史民俗郷土館・石の民俗資料館)の活動に必要な資料を収集し、展示・公開に向けての調査研究、保存管理等を行った。	5	資料の調査研究、保存管理を順調に進められた。		歴史資料館ほか
160	III	3	(2)	菊池寛及びその作品から学ぶ「寛学」事業	市	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施する。	郷土の偉大な作家「菊池寛」の作品に親しみ、先人の生き方に学ぶとともに、自己の生き方を考える「寛学」を実施した。 実施率100%	5	実施率は100%であるが、自己の生き方を考える学習を実践することができた。		学校教育課
161	III	3	(2)	民具資料活用事業	市	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の出前展示・体験講座、学校事業での民具活用などを行う。	歴史資料館等施設での民具の展示公開、民具の出前展示・体験講座、学校での民具活用(貸出し)などを行う。	歴史資料館等施設での民具の展示・公開、民具の出前展示・体験講座を行った。	3	実施した講座等は好評であったが、出前講座回数が前年度より減少した。		歴史資料館
162	III	3	(2)	古文書講座	市	生活に密着した古文書を題材に、年間7回(8月~3月)、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回(8月~3月)、古文書を解説し親しむための講座を開催する。	生活に密着した古文書を題材に、年間7回(8月~3月)、古文書を解説し親しむための講座を開催した。	4	人気の講座であり、市民への教育普及活動として定着しているが、参加者が前年度より減少した。		歴史資料館
163	III	3	(2)	夏休みに郷土高松の歴史を探ろう	市	小中学生を対象に、夏休みの自由研究として郷土の歴史をテーマに調査研究できるよう、講座等を開催する。	企画展「さぬきのFOOD(風土)」関連したワークショップを行い、高松の歴史等をテーマに調査研究できるようにする。	企画展「さぬきのFOOD(風土)」に合わせ、ワークショップを開催した。	5	企画展とともに好評であった。		歴史資料館
164	IV	1	(1)	市ホームページによる情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行う。	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営	本市ホームページ「もっと高松」の管理・運営を行った。	4	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を適時適切に掲載できた。		広聴広報課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	IV	1	(1)									
165	IV	1	(1)	広報たかまつによる 情報提供	市	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を発信するため、毎月1日・15日に「広報たかまつ」を発行する。	「広報たかまつ」の発行(毎月1日・15日)	「広報たかまつ」を月2回(1日・15日)発行した。	4	生涯学習情報を始め、各種の市政情報を適時適切に掲載できた。		広聴広報課
166	IV	1	(1)	子育て支援総合情報 発信事業	市	各種子育て支援情報を集約し、活用しやすい「子育てハンドブック」と最新情報を提供する「子育て支援総合情報サイト」により、積極的な情報提供を図る。	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」7,000部増刷(情報修正含む) 子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	○子育てハンドブック「たかまつらっこ」7,000部増刷(情報修正含む) 子育て支援総合情報サイトの情報更新、母子健康手帳交付時に配布するほか子育て支援課窓口、市民相談コーナー、子育て支援事業実施施設などの窓口で配布。 ○「子育て支援総合情報サイト」らっこネットからのお知らせとして、市役所・民間団体等の子育て家庭向けイベント等を掲載。 ○ひとり親サポートハンドブック(2,000部)の発行とひとり親ウェブサイトの運営	5	昨年度同様、ハンドブックの発行と子育て支援総合情報サイト「らっこネット」及びひとり親ウェブサイトの運営管理を行い、総合的な情報提供が図られた。		子育て支援課
167	IV	1	(1)	公共施設利用総合 情報システム事業	市	学校体育施設開放事業、市スポーツ施設の利用者登録・予約管理および利用者への各種情報提供を行う。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行う。	市スポーツ施設の利用者登録・予約管理、学校体育施設開放事業及び利用者への各種情報提供を行う。	5	問題なく行えた。		スポーツ振興課
168	IV	1	(1)	子ども向けホーム ページ「きっずの森」 情報発信事業	市	市内で開催される子ども向け行事や子どもの学習に関する情報を、子ども向けホームページ「きっずの森」にて発信する。	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載(広報たかまつ、児童館イベント情報、他課でのイベントなどから抜粋)	子ども向けホームページ「きっずの森」への掲載について、広報たかまつ、他課でのイベントなどから抜粋し、随時更新した	5	幅広くイベントの抜粋をし、内容豊富な子ども向けイベントの掲載ができた。		生涯学習課

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
	IV	1	(1)									
169	IV	1	(1)	コミュニティセン ターだよりの発行	コミュニティ 協議会	各コミュニティセンターで発行して いる「コミュニティセンターだより」 において、コミュニティセンター等 で開催する講座・行事等の学習 情報のほか、地域の学校関係情 報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行して いる「コミュニティセンターだより」 において、コミュニティセンター等 で開催する講座・行事等の学習 情報のほか、地域の学校 関係情報など多彩な情報を紹介する。	各コミュニティセンターで発行して いる「コミュニティセンターだより」 にお いて、コミュニティセンター等 で開催する講座・行事等の学習 情報のほか、地域の学校関係情報 など多彩な情報を紹介した。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
170	IV	1	(1)	まなびCANだ よりの「まなびかんづ め」の発行	市	生涯学習センターで開催される 講座等の学習情報を紹介する情 報誌「まなびかんづめ」を毎月発 行する。	生涯学習センターで開催される講座等 の学習情報を紹介する情報誌「まな びかんづめ」を毎月発行し、19か所に配 布する。	生涯学習センターで開催される講 座等の学習情報を紹介する情報誌 「まなびかんづめ」を毎月発行し、 新しい配布先を増やし39か所に配 布した。	5	計画を上回って実施した。		生涯学習センター
171	IV	1	(2)	地域コミュニティ 協議会情報発信事 業	市	市民・地域コミュニティ協議会・行 政が双方から情報収集・発信・ ネットワーク形成できる情報拠点 として、ポータルサイト「コミねっ と高松」を運営する。	引き続き、地域情報の情報拠点として 活用していく。	地域コミュニティ協議会からの情報 発信によりネットワーク形成できる情 報拠点として活用することができ た。	3	行政からの情報発信がなかつ たことに加え、全ての地域コ ミュニティ協議会が有効に活 用しているわけではない状況 である。 今後見直しを行い、それらの 改善に加え、サイト自体の認 知度も高める必要がある。		コミュニティ推進課
172	IV	1	(2)	市民活動センター 情報発信事業	市	市民活動センターホームページ 「ふらっと高松」において、NPO 等団体の情報を収集・発信する。	引き続き、市民活動センター機能の一 つである「情報収集・発信」に取り組み、 市民活動団体の支援の充実を図る。	ホームページ「ふらっと高松」、メー ルマガジン、フェイスブック及び機 関誌「コラボたかまつ」等を活用し、 情報発信を行うことができた。また、 ケーブルテレビ「コミュニティチャ ネル」に市民活動団体活動紹介 チャンネルを設け、市民活動に取り 組む市民自らが出演し、効果的な 活動紹介を行うことができた。 一方で利用登録団体とホームペ ージ登録団体の十分な整理ができ ていないことからホームページ登録団 体の受付を停止しているが30年度 には再開予定である。	3	あらゆる媒体を活用し、また、 市民活動団体を巻き込んだ情 報発信を行うことで、タイムリ かつ効果的な情報発信ができた		男女共同参画・協働 推進課
173	IV	1	(2)	まなびCANホー ムページ情報発信 事業	市	まなびCANのホームページで講 座の募集情報・施設情報・お知ら せ・インターネット塾など各種生涯 学習情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座の 募集情報・施設情報・お知らせ・イ ンターネット塾など各種生涯学習 情報を発信する。	まなびCANのホームページで講座 の募集情報・施設情報・お知らせ・ インターネット塾など各種生涯学習 情報を発信した。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター



取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1～5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
174	IV	1	(3)	生涯学習センター等の学習相談事業	市	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	市民が気軽に学習活動等に関する相談ができるよう、生涯学習センター等施設における学習相談など、相談機能の充実を図る。	システム開発ができなかったため、体制はできていないが、市民やコミュニティセンター職員からの学習相談に、窓口、電話、Eメールで対応した。	4	計測はできなかったが、市民やコミュニティセンター職員からの学習相談に対応した。		生涯学習センター
175	IV	1	(3)	ホームページ等の人材情報提供	市	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図る。	市民の学習活動を支援するため、人材や講座・学習資料など豊富で新しい学習情報の収集・提供を図った。	4	計画どおり実施した。		生涯学習センター
176	IV	1	(3)	レファレンスサービス	市	図書館所蔵の資料等を調べ、利用者からの問合せ調査の回答や学習に必要な資料の紹介等を行う。	所蔵の資料等を調べて、利用者から問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介する。	所蔵の資料等を調べて、利用者からの問合せのあった調査の回答や学習に必要な資料を紹介した。	5	利用者からの問合せ・調査は概ね回答できた。		中央図書館
177	IV I	2 5	(1) (2)	コミュニティセンター等パソコン講習会	市	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進する。	生涯学習センターやコミュニティセンター等でパソコン講習会を開催し、情報通信の知識や技術・マナー等、情報活用能力の向上、新しい情報メディアの活用を推進した。	5	計画どおり実施した。		生涯学習センター
178	IV	2	(1)	情報モラル等指導支援事業	市内小中学校	すべての小中学校において教員の情報モラル研修及び学級担任による情報モラル教育を支援する。	改訂した情報モラルの啓発資料の配布(紙媒体)を、新小学6年生及び保護者に配布するとともに、保護者対象の出席前講座、教職員対象の情報モラル研修会で活用し意識の拡大・継承を図る。	改定した情報モラルの啓発資料をデータで各校に提供するとともに、教員の指導力向上のための研修会を実施	3	各学校において、インターネットの安全利用や有害情報への適切な対応等に関する意識啓発と実践力の向上を図るため研修会が実践されている。		総合教育センター
179	IV	2	(2)	まなびCAN、Eメールサービス	市	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信する。	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数300人を目指す。	広報たかまつの発行に併せて、希望者のパソコン・携帯電話にEメールにより、生涯学習センター講座情報等を配信し、登録者数530人だった。	5	登録者数は、目標を上回った。		生涯学習センター

取組事業推進状況一覧表

【様式1】

	施策体系			事業名	実施主体	事業概要	29年度事業内容(計画)	29年度事業内容(実績)	評価 (1~5を 選択してく ださい)	評価の理由	評価が「1」又は「2」の事業に ついて原因及び今後の対策 について	課名
180	IV	2	(2)	まなびCANインターネット塾	市	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで3講座公開する。	生涯学習センターで開催された新規講座や講演等の内容要旨や講座風景などの情報をホームページで0講座公開した。	2	新規の講座を公開できなかった。	新規講座等は企業や他団体との連携事業が増えており、内容を詳細に公開すると著作権の問題があるケースも多く、HPで公開する特色ある講座を選定することが困難だったため。	生涯学習センター
181	IV III	2 3	(2) (1)	収蔵品システム運営事業	市	高松市収蔵品情報システムにより、歴史資料館等(讃岐国分寺跡資料館・香南歴史民俗郷土館・石の民俗資料館・菊池寛記念館・埋蔵文化財センター・美術館・塩江美術館・平和記念館)の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行う。	歴史資料館・菊池寛記念館・美術館等ネットワーク施設の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を継続して行う。	高松市収蔵品情報システムにより、歴史資料館・菊池寛記念館・美術館等の収蔵品のデータ管理、インターネットでの情報公開を行った。	5	未整理資料の整理・登録に努め、登録件数が増加したほか、システムアクセス件数も増加した。		歴史資料館ほか
182	IV	2	(2)	図書のインターネット予約サービス	市	図書館利用者カードの所有者を対象に、図書館ホームページからインターネット蔵書予約等を行う。	図書館利用者カードの所有者に、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができるよう維持・整備を図る。	図書館利用者カードの所有者に、高松市図書館ホームページからインターネット蔵書予約、貸出・蔵書予約確認(貸出延長・予約変更・取消)ができるよう維持・整備を図った。	5	予約件数は、ほぼ目標を達成した。		中央図書館
183	IV	2	(2)	新しいメディアの活用	市	「メルマガもつと高松」への行事等の登録(市民への情報配信)	生涯学習課主催・共催等の行事を「メルマガもつと高松」へ登録し、月2回の情報配信をする。	生涯学習課主催及び共催事業等の行事、また事業のスタッフ募集等の情報配信を行った。	4	必要な情報を発信することができた。		関係各課